京城日報
二月八日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（七日）

本會議（朝刊より續く）

▽三土忠造氏（政友）我黨は國防充實の費用は所得税、酒税の增率に求め税制整理は戰後に延期すべしと云ふに對し憲政會の計子は總ての計畫を明年更に樹て直し來れと云ふものにて時機に於て一致せず且つ否認によりて生ずる經費の不足は憲政會は減債基金の流用によるべしと云ふも本員等は其必要を認めず片岡君の如く樹て直し論を主張するが如きは無責任なる話しにて又減債基金を流用し然も其剩餘を臨時事件費の財源として公債借入金に充當すべしと云ふに至りては到底首肯する能はず國民黨は通行税、石油消費税の廢止を認めながら之に依りて生ずべき一千二百五十萬圓の歳入缺陷を如何にして補塡せんとするか之を明示せざりき、憲政會と同樣減債基金に依るとせば其誤まれる事前述の如し又小川君の如きは學者の論にて實際論に非ず、と各方面の所論を駁撃して降壇すれば次いで

▽川藤政之助氏（憲政）此大なる時局に於て財政上相當の餘地を存し置く必要あり然るに政府は平凡の合はざる税制整理を爲したり彼の日露戰爭に際し我黨は總ての重税の負擔に對し一言の反對を爲さゞりき然るに更に重なる今日に際し石油消費税及び通行税の廢止を提出する內閣及び之に贊成せんとする國民、新政兩黨の意志を解するに苦しむ、三十二年減債基金の流用を濫りにすべからずと云ふも非常の際には各國共に皆休止又は流用の實例あるに非ずやと酬い

▽大口喜六氏（國民）發言す政友會は税制整理は今日は其時機に非ずと云ふも今日は國本培養の爲め最も其の必要あるに非ずや、之れ石油消費税、通行税の廢止に贊成する所以なり通行税の如き下級民の負擔を輕減すべき社會政策的施設にして加藤君の如き曾て吾等と共に主張せるに非ずや若し之等の廢税の爲めに生ずる歳入の缺陷の如き政府の歳入に積を以て補はんにせず正當にせば自から補塡して餘りあらんかと述べ、次で武藤金吉氏（政友）の憲政會に對する駁論、川崎安之助氏（憲政）の政友會、國民黨に對する駁論、花井原文太郎氏（國民）の税制整理贊成論あり岩崎勲氏（政友）より討論終結の動議出で大岡議長は石油、通行税以外の左記諸税案に關し之を起立に問ひ委員長報告通り左の如く決定す

▲酒造税法中改正案
▲酒精及酒精含有飲料税法中改正案
▲所得税法中改正案
▲戰時利得税案（以上修正可決）
▲郵便法中改正法律案
▲清涼飲料税法案
▲自家用醬油税法中改正案
▲砂糖消費税法中改正案
▲輸出菓子、糖菓原料砂糖税法中改正案
▲織物消費税法中改正案（以上否決）

最後に石油消費税廢止案通行税廢止案に就て無記名投票を行へるに
投票總數　三百五十二票
可とするもの　九十六票
否とするもの　二百五十七票
の結果を示し即ち兩案共に二讀會を開くに至らずして消滅し午後六時十分散會せり（編輯者）

總督高女巡視

長谷川總督は七日午後一時關屋學務局長の案內にて高橋武官、神戶秘書官を隨へ京城高等女學校に到り約一時間半に亘り同校を巡視せり

位記傳達式

八日午前九時四十五分總督府總督室に於て勳章傳達式を擧行し釜屋秘書官、高橋陸軍武官、荻田總務局長、神田總督府書記官等陪席長谷川總督より左記の通り夫々勳章を傳達せり

叙勳四等授瑞寶章　總督府警務官　植村俊二
叙勳六等授瑞寶章　土地調査局監査官　濱田義丸
叙勳六等授瑞寶章　朝鮮總督府判事　野村調太郎
李王職事務官　朴胄彬
叙正七位

定例長官會議

八日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き各部局長官、同代理所屬官署長等參集長谷川總督臨席諸般の政務に就き協議を遂げたり

南洋の事業熱

馬來半島の護謨栽培　法華律孝治氏談

[illegible]大護謨公司取締役[illegible]

南洋方面の事業熱は頗る高調を示して居る事は御承知の通りであるが殊に馬來半島に於ける護謨事業は目下日本內地は勿論、世界の[?]

▲各國の關係 [illegible]放資しつゝある、我社の創立は明治四十一年であつて現今に於て六千エーカーの土地を有し已に生産しつゝある部分もあり又目下栽培中の分もあるが抑々同地方が著眼されたる原因は明治四十年に勃興した遠因は明治四十年の一時非常に高値を示して一封度十二志と云ふ驚く可き相場を現はした其の當時は所謂世間有勝の山師的事業視されて居たが然るに藤田組、古川、森村等の錚々たる實業家が放資を始めたので急速に移住經營する者が多くなり只今では日本人が

▲利權を獲得 して居る土地は全部にて殆んど十萬エーカーに達して居る、併し十萬エーカーと各國のものに比較すると微々たるものでまだ〳〵發展の餘地がある、而して現下の製産は世界中約二十五萬噸であつて其內ブラジル産の天然護謨が約五萬噸外各地にて二三萬噸であつて殘りの十八萬噸は實に馬來半島に依つて産せらるゝ栽培護謨である、而して社會の需要に應ずるには未だ不足を告ぐる迄ではないが戰亂の爲め皮革の相場高潮と社會の發展に伴ひ自動車の製作上タイヤーに使用せらるゝことに依つて非常に好調である、用途は産額の二分の一は

▲自動車用で あるとは言へ驚くべきものである而して目下の相場は一ピクル（日本の百斤）百[?]圓であるが既往の平均相場に依つて見るも七八十圓を下る事はないと信じて差支ないから勞力の關係は栽培には支那人を使役し採取には土人を使役して居るが目下栽培しても毎日生産を爲し月一回位取纏めをなして新嘉坡の市場へ送附するのであるが戰爭に依て受くる影響は非常なもので五萬六萬位の生産品は數時間を出ずして賣却取引されるのである、戰爭に依つて同地方の問題となつたのは英國に於て土地利權の

▲賣買讓渡を 制限した事である、始め各國人は六十エーカー以上の賣買讓渡を許さず但し英人は差支なしと云ふ勝手な規定で之に依て束縛したので我々は政府に向つて交涉方を同胞台に於て決議したが何分英國では目下戰亂の爲め放資するの財に乏しく平和後に於て利權を各國に壟斷さるゝの恐れあるを以て斯る擧に出でたものであるが交涉の結果英人にも之を適用して一應は落著した然し英國の各言論機關は之れを否認しつゝある樣だが何れとも決定しない然し英國の眞意も亦諒すべき處があるので結局蘭領スマトラ及び蘭領のボルネオに向かつて

▲各國は手を 擴げ我社でも同地方の買收に着手中であるがボルネオでも英領に屬する分は早晩馬來半島同樣の拘束を受くる者と思ふ蘭領を調査中であるが何分蘭領の所有權が不確實であつて土地の所有權は支配せらるゝ事となつて居る、然し同地は六箇月以上を經過すれば則ち永住資格者となり得る譯で同地では目下久原の手にある會社が優勢を示して居る要するに同事業の如きは最も有望であつて經營者に適するを以て發展する事は前途である各會社に於ても增資をなしボルネオに

▲五百萬圓の ボルネオコンパニーの出現となり既に日本內地に於ても投資計畫があり[?]い設けあり邦人間にも確實なる事業と思はれつゝあるので將來の利權獲得上喜ばしい次第である

滿鐵の採炭十年計畫

完成せば年額五百萬噸を得ん

滿鐵會社が其の附帶事業として將來資力の注入をなさんとするは鞍山站製鐵所と撫順炭坑とにして撫順の炭數は今日まで

▲八億噸 を計算せられ居たるが最近試錐測量の結果優に十億噸の數量あることを確め又た鞍山站鐵鑛は採掘の結果鑛質に於いて豫期以上の成績を認め鑛量は未だ確定的に知る能はざるも四五億噸見當の存在は專門家意見の一致する所なり爲めに同社は此二大事業に全力を盡さんとする計畫に確信を得

明年度より鞍山站製鐵事業の進捗と共に撫順炭坑の採炭方法に變革を爲し採炭十年計畫を立て之を實施する筈なるが目下撫順炭の採掘は其設備狹小にて現在耐用炭自給並に販賣石炭に於ても既に

▲出炭不足 を告げ更に製鐵事業開始により製鐵所の所要炭一箇年二百萬噸之に一箇年一割の率を以て需要を增加せる販賣石炭量現在約百萬噸は十年後には二百萬噸を要する計算にて之のみにても十年後の石炭需要量は既に四百萬噸に達し今日の出炭能力三百萬噸を超ゆる事百萬噸なり其他支那、南洋方面等の需要に應ぜん爲めには五百萬噸以上の供給を要すべく然れば此際至急採炭設備を擴張する事に決定せる次第にて之が事業と爲すに至れり

▲財源の關係 より十年繼續事業と爲すに至れり右計畫の內容に就いては詳知し難きも先づ明年度に於ては竪坑及び斜坑各一箇所の掘鑿に着手し倘古城子に一箇所の露天掘を開始し（本年度より繼續）斯くて豫定計畫を漸次進捗し大正十三年に至り出炭力五百萬噸を得る見込にて此間撫順炭坑を國家の寶庫として採炭上理想的の施設をなすは勿論なり斯く滿鐵の鑛業經營上に一大變革を行ふが爲め實行機關として從來統一を缺きし所屬明瞭ならざりし事業を今回分掌規程の改正と共に

▲全部鑛業部 に引纏め同部は石炭及び其副產物の採掘生産販賣鞍山站製鐵事業經營及び鑛業に關する一切の事務を掌り以て南滿洲に於ける鑛業並に附屬工業の勃興に應ぜん事を期せりと

南大門驛

新築着手は明春

南大門驛の新營は今朝議會に提出せる朝鮮鐵道新事業中に包含され居る

▲改築着手 は大正七年度初頭乃ち來る四月頃よりなるべしと傳へられつゝありしが最近責任ある當局に就き聞く所によるに南大門驛改築の事は決定し其の見込額も編成し出來せしが唯如何なる內容の設計に基づき其の建築に取掛るかは未だ確定に至らず尤も技術當局は時代試みに設計せし案は二三あり又今回議會への提出豫算も當時の案を基礎とし計上せられしも新に着手すべき

▲設計案 は二階とすべきか平家に止むべきか其の內部を如何に構造すべきか成案出來し居らざるなりこれ南大門驛の如き當面の急に應ずる建築を試みんとするには何等困難なきも然も今回新營せんとするは大陸首都の玄關として愧づかしからざるもの又京城發展の將來を見込み十分なる構造とするを要するに付未だ大に研究し大に議論の餘地を存す從つて目下提出中の鐵道豫算も今期議會を通過するも直ちに着手するの運びには至らず計畫を決し材料を蒐集する手順

▲好調に進捗 して先づ大正八年の解氷期に入ると云ふを適當とすべし尤も着手すれば大に工事を督勵すべきに付落工は存外速かにして大正九年中には新舘出來せん倘ほ位置は現在南大門驛を中心とする場所に付新營期間假停車場を何れにか設置する必要あり

朝郵阪神航路

當分の間繼續す

朝鮮郵船會社の阪神航路は客年十一月二十日附浦鹽航路を臨時阪神航路に延長すべしとて總督府の命令により開始せしものにて更に結氷中は浦鹽航路を休航とし阪神航路を繼續するやう再命令ありしが春暖と共に浦鹽解氷すれば右航路は又第一命令に復歸し更に何等かの命令なき限り一箇月三回汽船二隻にて浦鹽並に清津城津元山釜山門司を經由して阪神間に往復する事となるものにて朝郵にては其の方針により總べての準備を進めつゝありと

京畿鑛業近況

大正六年下半期に於ける京畿道管內鑛山狀況を聞くに鑛區面積三千四百九十八萬七千三百四十七坪此一日平均採掘高千八百四十二噸二十八錢三厘半箇年採掘高二十八萬一千二百廿四圓五錢にして從業者內地人七十三人鮮人千百九十七人なりと

新暗礁告示

朝郵汽船麗水丸の坐礁沈沒せし暗礁は海圖に記載なきを以て總督府にては近く暗礁發見の告示をなす由

英芬蘭獨立承認

英國外務大臣は駐英中の芬蘭使節に對し左の如き通告をなせり（倫敦電報）
英國は芬蘭獨立の理由に贊同しヘルシングフオールスに於ける芬蘭政府と直接關係を生ぜしめたるを以て事實に於て其獨立を承認せるも他日正式の承認を爲す時機到來せむ事を希望すと

芬蘭內亂益擴大

芬蘭の內亂は益々擴大しペトログラード、ヘルシングフオールス間の鐵道は破壞せられたり（倫敦電報）

波蘭人ク將軍逮捕

波蘭人は[?]軍總司令部所在地たるモギレフを占領しクリレンコ將軍及び其の幕僚全部を逮捕せり（倫敦電報）

北京內閣風雲急

王士珍總理は切りに辭意を洩らし段芝貴氏及田文烈氏を總理後任に推薦する等北京內閣の風雲急なり（北京電報）

澤渡少佐渡米

帝國飛行協會澤渡少佐は來る廿七日横濱出發米國飛行界視察の途に就く由（大阪特電）

開原銀紙の差　七日夕刊

奉天特電『幣制紊亂の惡影響』記事中『五日午前中に於て一萬圓に達し銀紙の差三十圓』とあるは『一萬圓に付八十圓內外の銀と不換紙幣の間の開きを生じたり』の誤まりに付訂正す（奉天特電）

新練兵場

●陸軍記念日　來る三月十日は陸軍記念日當日なるを以て軍司令部にては例年の如く攻防演習其他餘興等に關し夫々目下計畫中にて近々之が發表を見るべきが聞く所に依れば例年之を新龍山練兵場に於て擧行せしも本年は二月中旬頃より同練兵場內に兵營及び陸軍官舍等の建築工事に着手す可きを以て高陽郡蓬萊里（師團司令部の西方衛司令官々邸前面一帶の地）に移轉する新練兵場に於て擧行すべしと

今關囑託講演會

七日午後六時半より京城俱樂部に於て總督府囑託今關天彭氏の支那文藝十講講演會を開催せり定刻荻田總務局長の紹介に依り今關氏は講壇に起ち約一時間半に亙り第一講文字に就て講述し九時過ぎ散會したるが聽衆堂に滿ち頗る盛會を極む

鮮銀總裁演說

京都大學法科にて　鮮銀總裁は曾禰秘書役を隨へ七日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發東上したるが途中九日京都に下車京都帝國大學法科大學にて朝鮮銀行の現狀並に鮮滿に於ける財況に就き一場の演說をなし十日出發の豫定なりと

鮮銀新理事

三井銀行の片山氏に決定

朝鮮銀行にて理事增員一名に決定十八日の株主總會に附議する事は既報の如きが其の候補者は三井銀行の最高級行員外國課長片山繁雄氏にして氏は夙に外國爲替に通曉せる新進の銀行家として斯界に知られし人なりと（東京電報）

愛婦水兵歡迎

愛國婦人會朝鮮本部にては九、十兩日軍艦千歲乘組水兵二百餘名入京見學に際し依例昌德宮植物園附近に於て茶菓を供し歡迎の意を表すべしと

師團長南巡

第十九師團長立花小一郎氏は[?]一名を隨へ來る十二日龍山驛發南下第四十旅團の軍事情況視察をなし二十四日頃歸任の豫定なりと

岡本參謀長檢閱

師團參謀長岡本大佐は大沼副官を隨へ淮陽檢閱の爲め（咸興、羅南、會寧の諸部隊）本月十一日朝龍山發三月二日歸任の豫定なり

●池內聯隊長視察　步兵第七十八聯隊長池內英太郎大佐は北鮮部隊視察の爲め本月十一日龍山發三月二日歸任の豫定なり

●清水東拓秘書役東上　東拓秘書役清水常吉氏は今回東京本社詰めとなり家族帶同十二日朝南大門驛發列車にて東上すべし

●吉田朝郵專務引籠　朝鮮郵船會社專務取締役吉田秀次郎氏は過般來稍や輕き風邪に犯され目下引籠中

阿部氏送別會

阿部滿洲鮮銀總支配人の送別會は連夜各方面より開催されつゝあるが八日は乘馬俱樂部九日は朝鮮銀行十日正午は銀行俱樂部夜は愛媛縣人會十一日は漢城銀行と決定し其他私的の催しもあり公會の招待には應じ難しとの事なり

京城記者懇話會

十一日發會式擧行

在京城新聞通信雜誌記者の親睦を圖る爲め朝鮮新聞、京城日報兩社中有志者の發起にて京城記者懇話會を組織し例會を每月、大會を春秋二回開催し倘臨時會を開きて名士の講演を請ふ筈なるが來る十一日紀元節の佳辰を卜し發會式を擧行すべし入會希望の向は朝鮮新聞社伊藤、京城日報社長野の兩名に御通知ありたし追て發會式の會場、時間其他は當日の兩紙上に發表すべし

郵便物遲著

八日夜釜山に入港すべき關釜聯絡船は海上風波の爲め翌九日朝釜山入港の筈に就き郵便物は九日朝內地より京城に着すべきも九日夜到着の事となれり

●南滿工業學校生徒募集　南滿洲工業學校にては新入學生募集中なるが詳細は同校に就て承合せられたしと因に募集內容は左の如し

土木科	第一學年生	十八名
建築科	同上	十二名
電氣科	同上	二十名
機械科	同上	二十五名
採鑛科	同上	二十五名

人事消息

▲渡邊喜吉氏（總督府技師）七日開城に出張
▲赤木萬二郎氏（平壤中學校長）七日歸任二週間の豫定にて東京京都及び廣島へ出張を命ぜらる
▲山口貞昌氏（總督府法務課長）七日慶尙南道管內へ出張を命ぜらる往復二週間の豫定

大阪だより

▲輸出針類良好　近來米國の針類の輸出非常に激增し殊に畜音機針の如きは京都、大阪及び山陰地方に於ける各工場は晝夜兼行にて製造に從事中なれども激增せる輸出に追はれ到底之れを補充する事能はず當業者は此れを滿たす方法につき苦心せり目下一萬本に付き六圓三四十錢の高價を唱へ安價時代に比すれば二割方の昂騰を示せり

▲硫安硝石反騰　春來より鰻登りの好調を示し居りし肥料界は同年報告による期米の休會以來頗る軟調を來し硫安及び硝石は出値より八九圓方の下押しとなり豆粕も又之に隨伴し高値より二十三錢方の低落を示すに至りしが其後に於ける期米の手堅と大體に於て品物の薄の際とて相當に買物多く兩三日前よりの反撥步調となり硫安現物三百五十五圓四五月物三百二十圓と上向硝石現物二百四十圓下半期物二百三十圓と安値より兩者共に七八圓方の高騰となり豆粕も又安値より十錢方の引締を呈するに至りたるが先は倘餘含みを期待されつゝあるもの如し（大阪支局）

▲羽二重付保合　海外方面商狀落付きたる爲め地場も引續き靜穩なる狀態を示せるが重地方面は既到着註文積切れ關係による買物及其他の買物も含まれ實行良好にて相場も堅實なる步調を辿れり

▲北炭依然強硬　北海道石炭は鐵道納炭及び東京瓦斯等特殊の契約物を除くの外多くは打切りたり大正五年以前の契約に係るものは頗る減少したるが本年に持越せるものは此の他昨年九月以前に契約せられたるものあれども其に多からず本年出炭の大部分は昨年十月以後に於て締結せられたるものなるが當時は炭價の氣配騰かり弛せる時代なるを以て長期物契約されて今日より見れば實に安價の嫌なきに非ず今後三月頃迄に契約さるゝものは餘り多からざるに內地需要は意外に多く北海道地元は消費量亦侮り難きものある炭價は當分低落の模樣なきを以て賣側の態度頗る強硬なるものあるを以て目下鐵道納炭の成行を觀望しつゝあれば其の價格如何によりて此上の引締は餘儀なかるべきかと

▲製粉と調節令　一部の大手連の買進みに依り製粉界は未曾有の暴騰を示したるを以て過般來其輸出禁止說或は輸出制限將又物價調節令の問題に關し市場には夫々揣摩臆測するものあり政府當局に於ても彼れ是れ協議中なりしが今度愈々該法令は製粉にも實施すべく內定したるを以て一時五圓二十錢以上に昂騰せる東京市場は俄然崩落の氣勢を示し五圓臺以下の相場を現出し當地亦例の受渡問題の混狀と相俟つて多少の軟調を示し四圓八九十錢見當を告げ居れるが或は目先尙幾分の崩落は餘儀なかるべしと

時間表

[illegible]

十一月一日現行

百五十萬弗強奪
強盗隊ホテルを襲ふ

四日夜浦鹽斯徳ベルサイユホテルに軍人及び無頼漢よりなる四十餘名の強盗隊押入り全旅客より百五十萬弗の金員を強奪して逃亡せる事件あり之れが爲め目下市民は恟々として店舗を鎖せるもの多く頗る不安の狀態にあり(浦鹽特電)

▼浦鹽在留外人大會

浦鹽ベルサイユホテルの盗難事件に鑑み六日夜浦鹽在留外人大會を料亭に開催し出席者六百名各國人より二十一名の委員を選定し浦鹽官憲に[illegible]之れを[illegible]すると共に各領事を經て本國政府に浦鹽現時の狀態を訴ふることに協議決定せり(浦鹽特電)

奇怪なる瑞典宣教師
京都驛で頭山日深の婦人と會見
警務總監部にて取調らる

瑞典宣教師と稱する外人ネア[illegible]は[illegible]十一時關釜連絡船對馬丸にて釜山に到着するや警視廳より尾行し來れる大阪府警察部及び釜山憲兵隊の手にて税關監視課に同行を求められ所持品及び荷物を嚴重に檢査され七日午前十時半發列車にて京城警務總監部に護送されたるが同人は獨逸人露國人等の多數往復書狀及びトランク[illegible]瑞典金貨[illegible]十クローナ及び露國、日本の金貨各數を所持し居れり同人が去月[illegible]後七時半渡鮮の途中京都驛を通過するや頭山日深にかぶれる獨逸婦人同驛より乘車し兩人は一等車室内にて數通の文書を交換せる形跡あり此獨逸婦人は目下久留米俘虜收容所に在る獨逸陸軍大尉の妻にてジグネモール(三七)と云ひシーメンス事件の大物ヘルマン方に止宿する者なり　近時獨探が西伯利を根據とし日本、滿洲、朝鮮地方に出沒する形跡あり當局に一網打盡の機を覗ひ居れる際なれば或は意外なる方面に波及するやも知れざるべし(東京特電)

宗像政氏薨去
癌腫を病みて

貴族院議員從三位勳二等宗像政氏は癌腫を病み代々幡村幡ヶ谷の自邸に靜養中なりしが七日夕刻薨去せり享年六十五歳(東京特電)

▼尾崎氏に公開狀を送つた
壇の浦知事
故宗像氏の面影

宗像政氏は熊本藩の名家に生れ幼にして膽略識見儕輩を拔き郷黨皆年間に重きをなしたるが移藩の選拔に依り東京遊學を命ぜらるゝに及んで時の井上文相の知る處となり、轉じて北海道札幌農學校に[illegible]びたり

▼時恰も西南の亂

起りたるを以て中途郷の上陸に投じ宮崎其郷平川惟一等の組織せる協同隊に加はり途に推されて中隊長となりたるが亂平ぐに及んで懲役五年に處せらる獄中に於ける氏は歐米の政治及び國情を熱心研究し時勢の移轉に對し窃に愛國慨世の志を抱きたるが出獄するや世を擧げて自由民權論沸騰し居たるを以て直ちに熊本に歸り相愛社の領袖となり自由を謳歌し民權の擴張を唱道し更らに九州改進黨の創始に當つては盛大いに勵め國會開かるゝや熊本より代議士に推されて政壇上の人となりたり後松方内閣成立の時埼玉縣知事に拔擢され瓦解に際して尾崎行雄氏に對する公開狀を國民新聞紙上に公にしたるが文中余は壇の浦まで行かんの文字ありたるより

▼世人氏を呼んで

壇の浦知事となし自分も壇の浦と稱し居たり時來宮城、高知、岡崎、熊本の各縣知事に歴任し所謂官僚一派の手腕を以て大いに治績を擧げたるを以て令名大いに揚り更に東京府知事となり野に降りてからは依然政界に重きをなし居たるが昨年貴族院議員に勅選せられ今日に至れり

火災の跡
龍山鐵道病院の大火後聞
▼損害程度不明

龍山鐵道病院が火災に罹りたる事は朝刊所報の如くなるが損害程度は目下調査中にて判明せざるも本館階上は火の手の廻り早かりしため病室五箇號婦控室一、全燒院長室、宿直室外病室三は天井燒け拔けたるため半燒し

■階下は婦人科室、患者待合室、歯科及び事務室等車寄より向つて右側は外壁を殘して全燒し左側の内科外科手術室耳鼻科室等は辛くも消し止めたるため外觀よりすれば損害程度僅少なるが如く見受けらるゝも

■本館は約三分の二以上を燒失したるのみならず醫療器械を全滅せしめたる等より見積れば六萬圓以上の損害ありたる模樣なり

▼發見した時は遲かつた

出火と共に逸早く發見したる龍山病院前繩屋方永濱繁次郎氏の談を聞くに「四ツになる[illegible]が[illegible]を病ぎましたため數日前から第十[illegible]號室に入院して居りましたが病[illegible]ましたから

■當夜は[illegible]の者も親戚知己[illegible]人詰め切つて[illegible]ますとどうも焦臭いと[illegible]ありましたので[illegible]夜れ目から煙が[illegible]天井に向つて噴き出して居ましたすはこゝぞと

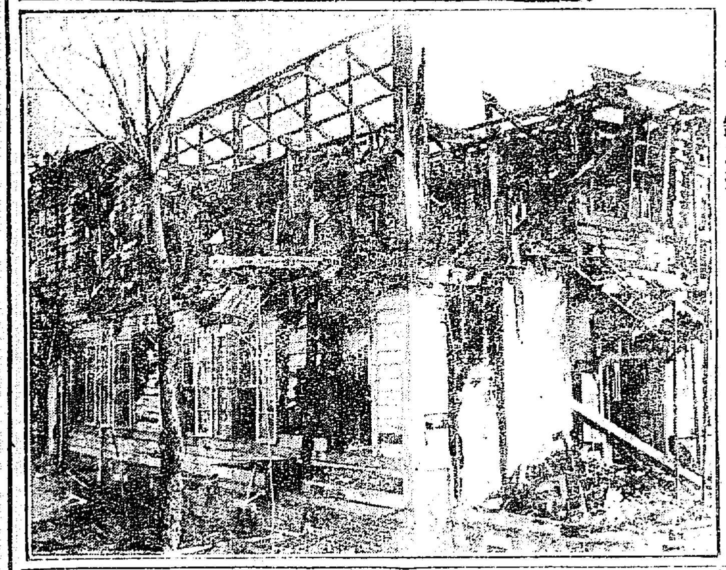
■大騷ぎになり病人を自宅に運び出すと同時に、事務室に知らした」と語り居たるが此時紐は既に天井に燃え上り瞬く間に屋根裏を傳つて全體に燃へ擴がりしため手の施す術もなく遂に大事に至らしめしなり

▼何うして消し止めたか

消防隊を率ゐて馳けつけたる龍山憲兵分隊の一下士曰く現場に就いて失火の原因を取調べると壁に接して瓦斯タンクが設備してあるが多分タンクの水が無くなつたため

■火熱を傳導して壁の内部にある燃質物に燃え移り火焔は水道管に卷きつけた藁を傳うて燃え上つたものゝ如く想像される然して一旦天井に噴き出した火は何の障碍もなく天井裏に跳梁して見る〳〵間に各病室を襲うたのである

■完全に設備されて居たならば大事に至らぬ間に鎭壓する事が出來たであらう、さるにても階上一面火の海となつた程の大火と戰つて階下の一部分と外壁の大部分[illegible]



龍山鐵道病院の燒殘り(八日朝撮影)

梅一輪

頭を壓へられた樣な曇り日も今日は暢やかな鳥の羽敲きに晴れ渡つて春めいた光りはうら〳〵と滿街にゆらめいて居る、旭町一丁目を右に疎ぐに突きあたつた奬忠壇公園の足下に和田八千穗とされた門札を[illegible]入つて[illegible]

[illegible]洋館建の構へ、それが和田外科病院長の開宅であつて、愛[illegible]しの夫人は[illegible]好きの院長が御手[illegible]を誇らしげな毛皮の[illegible]の[illegible]よくスリツパの先きを揃へて[illegible]に[illegible]り合から『私』はさう[illegible]して[illegible]

[illegible]には可なり古い[illegible]今年十七になります長女が[illegible]して直き[illegible]りましてそれから[illegible]

▼變れば變るもの

始めて京城へ參りました時は今の本町通りも日本人の店が飛々に在つた位るの和田外科病院々長夫人のおはなし

「東京の方へ歸つて居りましたが京城で開業する樣になりましたので參りましたのです[illegible]

[illegible]

練習艦千歳
仁川入港

[illegible]練習艦千歳は[illegible]生三十九名を[illegible]の豫定を以て八日午前十[illegible]より入港春光[illegible]なる小月尾島沖に投錨し[illegible]旗は静かに島影に[illegible]

[illegible]

▼消防手の負傷

[illegible]

路傍に井戸を新鑿せよ

水道水は雜用に惜しい▲▲▲▲

水道水は雜用に惜しい[illegible]に京城の[illegible]路傍に[illegible]

◎非常の場合

[illegible]

◎大暴風雨で

[illegible]

◎井戸の中に屍體

六日[illegible]午後三時三十分頃府内[illegible]洞七十一番地尹世浦方井戸の中に生後一週間を經過したる男の兒の屍體を油紙に包み小石五六個を重垂となして投棄しありしを發見せしより鍾路署に於て取調べたるに病死せる屍體を投棄したるものゝ如く鮮人の所爲らしといへり

讀者文藝(一等には五十錢の賞品券を呈す)

△一口噺

◎奥さん『高等官でも生活難がおるとさ』お鍋『嘘ツ立派な生活難でせうね』(一等)　　　　新町一ノ一　久住　松月

△甲『何故此頃は火事が多いのだらう』乙『燃料が払底して燒くものが無くなつたからさ』

△讀者『監獄で惡業を覺えて正道についた事があるさよ』無職者『ちやあおれも監獄へいつて覺えて來ようかな』　　　　京城　金　太郎

△醫者『今年は去年より寒いとさ』患者『道理で去年の着物を着てあるのに寒いと思つた』　　　　太平通　奥太　楽

△先生『豆腐はどんな豆で造りますか』生徒『ハイ四角な豆で造ります』　　　　利川邑　福井　こう

△母『坊やそんなに鐵瓶の側へよると湯氣でやけどをしますよ』子供『僕呼入して居るのよ』　　　　群山　荒　雄　生

　　　　　鐵山　恭　子

讀者文藝課題及募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢の賞品券を呈す▲選者は一[illegible]

商況

東京期米特電

兵庫期米

大阪三品特電

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米高

[illegible]

仁川正米

▼皮三十圓以上キツド三十錢内外

下落[illegible]象皮十五圓内外キツド一二十錢落[illegible]

晒寸高模樣

荷乙[illegible]

原料相場[illegible]

騰貴促[illegible]

大麥引締まる

二十錢方

正米依然持合

寄付前見送り

平澤方

面漸く採算

一化變[illegible]

仁川期米

▲八日前場

(強硬伸惱む)大氣天候晴天[illegible]

昨正午八錢高[illegible]

先限二十一圓二十[illegible]

七錢五錢高[illegible]

八氣[illegible]三十一錢上伸

各地亦高入電に[illegible]

一儀待ち見送

期米通報開始　仁川電報社　第一回報來十一日

田中金兵衛商店

紺高減少

替商内行はれたり取採算上乘

貸正後に至る

一變動を演出するな

仁川米豆取引所

八日の三月限

雜觀

◎綿絲布小じつかし

更に引締の現物

[illegible]小高く引値

◎綿布又龍レー十三

圓二十錢

銘十圓五十錢と五

錢方引締

◎製粉新高値

輸出注文頻繁

輸出行[illegible]

新高値に上れる原料

五圓十七錢

小麥[illegible]

空前の相場

◎皮革類不勢

全然硬化

在荷の僞

本國相場[illegible]

滯[illegible]

強硬の裡に伸惱の成行

返し二十錢丁度

二十一錢

市場雜觀

南大門の廻穀

釜山穀物(七日)

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎

有力大手筋は新動

白米標準値

小賣白米

二十三圓十錢

二十三錢五厘

二十三錢

生魚市場

▲釜山水産市場(六日)

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店

天氣

晴一時曇

[illegible]

滋き思ひ出十五年
萬歳を絶叫した日
◇千古に傳ふべき仁川海戰紀念日◇

十有五年夢の如く轉じて茲にまた千古に傳ふべき記念の日が來た、明治三十七年二月九日猛露の鷲を撃つべき最初の一發は先づ午前十一時五十五分仁川港外八尾島沖、海波穩やかに眠る海若を驚殺した港内に泊する各國の艦艇環視、危機既に寸隙の間に迫るを覺りつゝ

◆不安と恐怖 に稍やかされし幾日かを過ぎきて二月八日を迎へた仁川居留民は其夜木越旅團の敵前上陸を如何に歡呼して迎へたか、明くれば九日、陸に軍旗を擁して沖に此の砲彈の殷々たるを聞き海上の戰捷を窓外に眺めた居留民は更らに如何に抃舞したか嵐の前の靜寂、戰の前の不安、而して戰捷を目睹する歡喜の極み

◆靜かに想ひ を當時に馳すれば一夢茫として早くも十五年、されど猶ほ昨日の如くなる新たなる胸の躍りよ、あゝさらば滋き思出の緒を繰り記念すべき今日の昔を偲ばんか

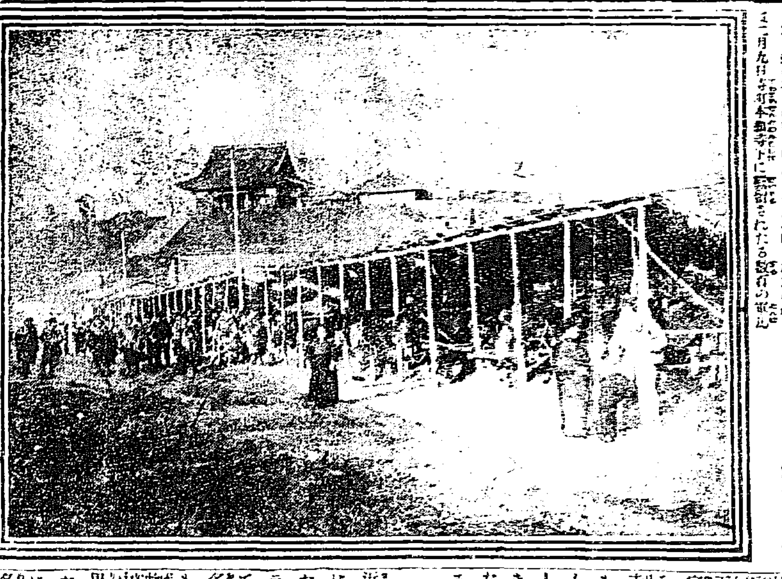
▲水煙天に冲す 爆沈の刹那

八尾島沖に迫つた我が瓜生艦隊の挑戰に應ずべく殊勝にも錨を拔いた露艦コレーツ、ワリヤークの二艦は剛暁たる軍樂裡に港外に出る今や遲しと待ち受けた我が淺間千代田の主戰艦と早や七千米突に近づいた、果然一發轟然たる響に先づワリヤークが砲彈の火蓋を切ると續いて諸艦一齊に發砲を開始する水煙天に冲し砲煙日を蔽ふ海戰を遙か陸上に望遠鏡を取つて眺むる居留民の胸は

◆云ひ知れぬ 動悸に打ち震ふ刻又刻戰況次第に進むで砲彈の命中我れに薄く彼れに繁きを手に取る如くに眺めた丘上の觀戰團は思はず兩手を擧げて萬歳を絶叫する世界何れの國に行くとも海戰を我が家の上より望み見た國民は古今絶無唯我仁川居留民ある許りである緊張した心躍る胸恐らく又此の時位ひ永久忘るべからざる記憶を刻むだ者は前後唯一の仁川居留民許りである、斯くて

◆砲戰四十分 午後零時四十分となると敵艦脆くも破れて檣頭折られ艦腹貫かれ艦橋微塵に破碎されてコレーツ先づ火災を起して戰陣を退くと續いてワリヤークも亦後を追ふて港内指して遁竄する火焰を吐きつゝ傾斜の艦體を港内月見けて逃げ込む時觀衆の歡呼は天地を震撼する許り

◆聽て砲聲 鎭まりて海上搖曳の餘波を殘し殘照淡く敗殘の艦影を染むる午後四時、爆音一聲天も裂けよと響くと見る間陸上の家屋は搖ぎ硝子は破れ一大修羅場を現出するかと氣遣はれて屋外に走り出づれば不思議や砲彈の爆發もなくて港内遙か月尾の影に恐しき沖天の水煙を見た、其時コーレツは既に濛々たる黑煙の中に包まれて仁川の海底深く藻屑と消えた、あゝ此の刹那の感想を語り得る者は唯當時の居留民許りである



●不安より救はれて 明治三十七年二月八日人心洶々たるにも砲彈雨下せんかと安き心も無かりし仁川居留民に八日夜木越旅團の敵前上陸敢行に依りて初めて此の不安を除くに至り記念すべき十五年の昔二月九日の仁川は如何に歡喜に溢つたりしか沖に砲聲の轟くを聞きては市中に [illegible] 當時の [illegible] 本願寺下に [illegible] されたる [illegible]

西比利亞に
三十八萬の獨墺人
◇獨探希臘探等の大活動

[illegible] 列車のイルクーツクに落したるは恰も過日の騷亂勃發せし二日前なりしが同市には夥しき獨逸人入込み盛に大道演説を試みゐたり憐むべき無學文盲のムジク人種は五百人千人と集りて演説を聽取し居り其一獨探の述べたる大要は

諸君は最早專制政治を脱去して自由平等の民となれり諸君は吾等と同樣平和を熱望するならん平和は萬國民の福音なり然るに渠米國何奴ぞ猥りに獨逸に向つて開戰せんとは諸君は米國が如何に露國に害敵なるを知れりや米國は口に自由を唱道しながら往年墨士哥より加里渡尼、アリゾナ等自國の領域以上の廣大なる國土を横奪し墨國人を奴隷扱ひし命を奉せざれば獄に投せり米國は此筆法にて露國の金礦を奪取し諸君を奴隷と爲しつゝあり

又諸君を殺して戰線に立たしめ何一滴の血を流さしめんとするものなるぞ而して諸君若し米國の命に服せざらんか更らに日本軍隊は西伯利亞を横斷するに至るべし然れども諸君の安堵せらるべきは今や三十八萬の獨墺人は西伯利亞に在り一朝日本軍上陸せば是等は即時銃を提げて諸君の爲に日軍を撃退すべし諸君は日本と獨逸と孰れを選ばむか [illegible] 口角泡を飛ばして米日殊に米國を極力痛罵するに對し愚民は異口同音に獨逸々々と絶叫する [illegible] 列車中にも獨探は多く [illegible] あり又希臘人も少なからず是等の希臘人も獨探同樣露民に向つて米國を罵倒し米國鐵道隊は露國の軌條を盜むで本國に持歸る爲に渡つて來たものであるが [illegible] 今度の騷亂の際西伯利亞一帶は [illegible] の者にて滿たされたる有樣なりし不安に至りては言語に絶し予の室は定員四人なるに得體の知れぬ人物が十八人無理押しに乘込み而して鐵道沿線には過激派の無賴漢群衆して乘客に暴言を加へ時としては銃を引寄せ警戒を加へたるがマンチュリア驛にて支那兵の乘車するに至り漸く安堵の思ひを爲したり

東蒙の駱駝隊

赤峰地方の運輸は主として大車牛車駱子によりて盛に物資の輸送行はる而して駱子は駱駝、騾、驢等の駄隊が數十頭隊を爲して輸送するものにして駱駝は長距離の輸送に使用し特に沙漠の如き車馬の往來困難なる處に於ては最も重要なるものなり駱駝隊の輸送經路は一、赤峰より朝陽錦州方面二、赤峰より平泉、遵化を經て天津へ三、赤峰より [illegible] 口を經て北京四、赤峰烏丹城、林西方面五、張家口多倫諸街、經棚一帶を主なるものとす駱駝隊の輸送貨物は獸毛皮革 [illegible]

哈爾賓 物資持堪

近來東支南部支線の貨車輻湊し順調になりしは既報の如くなるが此ため哈爾賓の物資は滿洲里、ポクラニイチヤナの東西を閉鎖せられて以來出口を失ひて下落せるもの多かりしかば當地方面への逆送品も來るべしと思ひし者ありしが特産物中牛皮等以外は殆んど來らざる理由は彼地商人の見込みは近く滿洲里解禁は行はるべきを信じ居れるため今暫らくの所を持ち堪へ居るに因ると [illegible] 先般も哈市商人團の連名にて同地鐵道長官に滿洲里線の [illegible] ひを出し居りしも長官は目下其の交渉中なりと

安東と東拓

安東有志者間には正金銀行の引揚げ以前より東拓の滿洲進出を見て是非共安東にも支店若しくは [illegible]

[illegible] あるも [illegible] 入山を [illegible] 本年の流筏は或は大減少を來すべきも [illegible] 憂慮しつゝあり

新炭漸く下向

[illegible] 市場に於ける燃料 [illegible] 舊年十一月より [illegible] 賣値を [illegible] 十五、六圓 [illegible] 下向 [illegible] 二三圓を唱へ [illegible]

上流伐木狀況

[illegible]

京釜保管期間

[illegible] 滿鐵會社にては大連埠頭貨物保管に關し [illegible] 月一日より翌年五月 [illegible] 別すべき期間を明瞭ならしめたり [illegible]

草其他藥草穀類等を輸出し陶器石油麪線香棉絲布紙類を輸入し鳥丹城赤峰熱河平泉北京間に多く之を見る而して駄力は比較的少く三百斤乃至五百斤なるも一日能く二百支里を進み而も粗食に甘んじ一日の食料乾草十五斤豆一升を一握の食鹽と水とにて足り一度食すれば數日間絶食するも疲勞せず是等の駱駝隊は晝間は多く旅店に休憩して日沒前出發し夜間の走行を得意とす [illegible] 數十頭を連結し [illegible] 往又震古の [illegible]

舊正月前商況

[illegible]

鐵道見學團

[illegible]

出張所の開設されん事を希望し居る折柄突然正金の引退となり一層此の念を強からしめたる結果 [illegible] 川上理事を通じ [illegible] 其の希望を [illegible]

演藝案内

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 [illegible] 落語（遊玉）一落語（手踊）一落語（浪花節）一落語（右圓遊）一手踊（歌六）一浪花節（浪月）一落語、手踊 一大切喜劇（總出）

黄金館 電話二六三七 二六六 [illegible]

壽館 電話一〇五〇 本町 [illegible]

有樂館 [illegible] 日出の國 [illegible]

稲荷座 本町五丁目 市川團之助一座 [illegible] 俠客 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible] 探偵劇 [illegible] 三四の爪 [illegible]

債券賣買 高價買入 [illegible] 鹿海商店

謹近火御見舞 [illegible] 川 國部 新井 榮 治 直 信 明 正 三 [illegible]

勸業貯蓄債券 高價即金買入 相場表は申越次第進呈 釜山草梁第三區 岩井商店 電話壹貳六番

軍隊拂下品 紺絨外套 [illegible] 鐵道局拂下外套各種 其他防寒襦袢、袴下、靴下、手袋、足袋、脚絆、洋服類一切 茶褐色改造品 作業用德用品一切 毛布賃貸しも可仕候 京城北米倉町 村上商店 電話千百十二番

石油蠟燭は危險 鑛山用 倉庫用 家庭用 手提電燈 大形一圓 [illegible] 京城 熊平支店

晶の道しるべ 村上浜吉共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 京城日報社代理部

朝鮮銀行 振替貯金口座 京城三三三番 電話 [illegible] 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口 出張所 傳家甸、龍井村 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

高尚なる方々の御使用に適する高尚にして品位ある化粧液は美顔ユーマー!!

値上廣告 並瓦 四錢五厘 諸物價騰貴に付上記の通り値上仕候也 大正七年二月 京畿製瓦組合

榮養ヲ增進シ精力ヲ旺盛ニス グリコナール錠 本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇％ノグリコナール及自脂肪鑛物新分ノ適量ヲ含有ス 一般虚弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等ニ適用シ滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス 東京室町 三共株式會社

依賴者の希望により更らに十七日迄延期 美馬天地眼來る 如何なる者か 京城本町 山本旅館 一代陰陽性相學會長 觀相學博士 運命豫言者美馬天地眼

昨夕火災の際は早速御馳付被下御盡力相煩し難有奉存候混雜中御尊名御伺ひ洩れ有之哉も難計候に付乍略儀以紙上御禮申上候 大正七年二月八日 龍山鐵道病院 職員一同

汽車
京釜線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
湖南線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
京義線（北行）[illegible]
同（南行）[illegible]
京仁線（仁川行）[illegible]
京元線（北行）[illegible]
同（南行）[illegible]

左甚五郎

第百六十三席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

寛文四年三月、評定所が立ちまして係りは老中阿部豊後守正武、水野十郎左衛門が神祇組の元締をして居る者故此の者を呼出しました、スルと評定所へ出て參つたる水野十郎左衛門、坂部三十郎、加賀爪三左衛門の三人、服裝はと云ふと黒天鵞絨に金糸を以て定紋を縫つたる羽織を着し、同じく黒天鵞絨の袴を穿けて、頭髪を見ると揉上を元結で結び、其の先を手一束に切てあるから宛然奴頭の樣でございます。神祇、白柄組の者は町奴に似て甚だ異風な頭髪をして居りました、水野十郎左衛門は、異樣の服裝をして大小を帶し、默禮もせずして天下直參の旗下といふを嵩に假つて、ツカ〳〵と縁側へ上らうとした時に、豊後守正武はハタと睨んで『控へろ十郎左衛門、今日將軍家御前に於て係り豊後が、善惡を取調べんとするに其方の扮裝は何だ、天下の人を侮蔑の事退り居れ』と水野十郎左衛門を其儘引退げてしまひました、が、豊後守正武の取調べにて神祇組の者一同の者は切腹仰付られました。然し片手落は出來ません兵藤平内も旗下の者を殺めたと云ふ廉で切腹といふことになりました是を細かに申上げますと永くなりますから大略して申上げます、水野十郎左衛門は幡随院長兵衛を殺して家を潰したといふが、日頃の行ひ惡しくして此時に切腹をしたのでございます。是故に白柄組だの神祇組だのといふ者は無くなつてしまひました、其服裝の内は切腹といふことで其の者は播州明石の松平日向守信行に預けられました。豊後守正武が平内を哀れんだと云ふのは大番頭の子として腹前は[illegible]其の行ひとても惡しきことはいたしません、日向守に預け置かば又後に父平左衛門の跡目をすることもあらうと思つて此の家へ預けられたのでありまず、日向守信行が平内を預かつて密に隱匿置きますと、茲に松平日向守の縁續き目附を勤めて居る条玄蕃といふ者がある、此の人は鳥渡大久保彦左衛門と云つた樣な氣風の老人で豪壯活潑の氣性、奥方は前年亡くなつてしまひましたが、當年十八歳になる松代といふ娘と親子二人であつたが、父の玄蕃は頗る愚痴で男の子の無いのを歎き　玄『コレ娘、何故其方は男に生れて來なかつた、女では仕方が無い、女は三界に家無しと云つて女ほどつまらないものは無い』松『お父樣全體是は貴下がお惡いので、何故男の子を拵へないで女を拵へたのです』玄『何故拵らへたと云つて、自然に出來たものだから仕方がないではないか』松『ソレ御覽遊ばせ、然して見れば何にも妾が惡いといふ譯でもありますまい』玄『其方が惡いとは云はんが、拙者も男子が無いから愚痴を云ふのだ』抔と常に愚痴を云つて居る此の条玄蕃が日向守[illegible]　玄『平内は[illegible]兵藤平内といふ[illegible]』信『[illegible]公然切腹の所[illegible]助命となつて家に預けられて居ると云ふことだ』信『如何にも老中の豊後守より内命を受けて預つて居るが、あの平内といふ男にも困つたもので』玄『何が困ります』信『何かと云つて平内は改心でもするかと思へば左は無く、朝などは四ッを打たなければ起ない、それで酒ばかり飲んでゴロ〳〵して居る、横の物を縦にもせず我儘一ぱい、質に持て餘して居る』玄『ハヽア酒を飲んではゴロ〳〵寝て居て我儘一ぱい、それは面白い』信『何に面白い奴があるものか』玄『俺は然ういふ氣合の者を好みます、如何でござらう其の平内を手前方の養子にしたいと思ふが下さる譯にはなるまいか』

外科一般　皮膚科
泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話[illegible]

曆　二月十日　九星
舊十二月廿九日戊子
本命四綠閉鬼宿
▲四綠 何となく心閑[illegible]▲五黄 頑固一點[illegible]▲六白 中運の日なれども[illegible]▲七赤 怠慢の[illegible]▲八白 女難[illegible]▲九紫 [illegible]▲一白 [illegible]▲二黒 [illegible]▲三碧 [illegible]

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す事の書た詳しい本を無代進呈す
●名古屋市南小川町一　致生館

りん病
消渇で困る方切手を
三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお飲へ致し升
名古屋市南カじや町　武藤龜吉

目ニ見ヘテ
ズンぐトキク
シユマズイタマヌ
井上博士ノ
ロート目藥

眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の為に惡いからロート目藥には消毒した布と下圖の樣な新案の點眼器を添えてある
●全國各藥店にあり
定價　徳用大瓶五拾錢、中瓶廿錢、小瓶十錢
本舗…東京…大阪…山田安民藥房

◎世界唯一
偉大なる發明品……妊婦の喜び

本紙及全國の新聞雜誌に廣告して世界的名聲を得た最新發明品……田中式安産いわた帶の効力で……幾多の妊婦は皆申合せた樣に質に具合がよい、御分娩は輕い産後の肥立よく御兒樣はマルマルと肥えて育つた[illegible]
大評判の『田中式安産いわた帶』は田中先生が最新醫學上より發明されたる物で現代の醫界に於る最も進歩したる妊婦帶として賞讃され今や遠く世界名地にまで喧傳さるゝに至り其の愛用者は實に幾萬の勢で増加されつゝ有升。

（天下一品）

優美高尚にして精巧緻密の考案になる製造されたる『田中式安産いわた帶』はタッタ二つのボタンをはづしが出來て大小伸縮自在で腹部一面にキチツト密着して如何にも不思議と思はるゝ程腹かで具合よく上にも下にもズレル事なく微妙なる製法により起ち居にも伸縮自在で心地よく胎兒を支へ上げ胎兒の發育を適度に助け胎兒の位置を正しく正則の状態で樂々と御安産が出來る等實に驚くべき効力があり升、腹部の手當を完全になさらぬ結果難産や流産をされ遂には貴重なる生命までも失ふ事が世間には數へきれぬ程有升…生命を重じ安産を願ふ御方は今すぐ本品を御使用なさい
定價　△高貴御用品[illegible]
東京本郷[illegible]
田中商店
紅白御進物

（東）洋酒　罐詰　糖粉　卸商
（月刊發行）
釜山　あづまや商店
電話[illegible]

大黒南海堂
藥種　賣藥　醫療器械　卸商
釜山辨天町
電話[illegible]

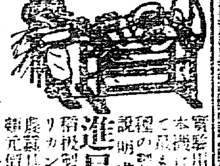
内外貨物直輸入
長岡商店
釜山辨天町[illegible]

米穀調製器　收穫用器具　竹製消火器　販賣
釜山本町
朝鮮勸農商會
南鮮發賣元
（地方持約店募集）

優美　高尚　徳用　堅牢
オノエたび
各地に販賣店あり
朝鮮代理店
釜山　島田糸店
電話五七八番

雜貨問屋
釜山大庁町
明治屋本店

釜山商店案内



大正式最新[illegible]
進呈
東京本所長崎町一丁目　日本發明社

（ミツワ文庫、七二）

素肌と化粧

雪から覗く薄紅の梅の花
素肌で見ても美しい皮膚

尾上梅幸談

春寒とは申しながらあすなに季節ははづれませぬもので、ボツ〳〵諸所の梅便りを耳にいたすやうになりました。風流なお方々には春の魁の此花をお探ね遊ばして淋しい色香を賞しておいでゝでござります。梅のこの花に就きまして常に思ひ浮べますことは、絹のやうなふうわりとした春の淡雪の中から、薄紅の蕾を仄のりと覗かせて有るか無きかの清らかな香を漂はして居る梅の花の美くしさでございます。御覧のとほり花は雪を得て一層風情を添へ、雪は花に積つて一層清らかさを増して居ります。私共のやうに常に化粧法に就いて心を碎いて居りますものは、花を素肌に見立て雪を白粉に見立てまして、どうぞしてお化粧もあのやうに生々とした美くしさに施したいものだとツク〴〵思ふのでございます。お化粧と申せば一寸湯にでも入つて來て紅白粉をつければ宜しいやうに思ひますのは大層な誤りで、理想に適つた眞のお化粧と申すものは只今申し上げました雪の梅のやうに、白粉を透して映る匂やかな肌の美くしさでなければなりません。別に言葉で申しますと素肌の美くしさを矜り得るお方にして初めて眞に水際立つた立派なお化粧が出來るのでございます。

本から追々に整へて行きますのが最も確實な良い方法でございます、其良き洗料でございますが、其良い洗料は直ちに化粧の活死に拘はる問題でございますから、私共は稼業[illegible]頭を悩めまして、多年の間内地製品は勿論のこと舶來品までも取り寄せまして、ありとあらゆるものを試して見ましたが其結果、完全無缺の洗料とて[illegible]して私共斯道のものが申し合せましたやうに専用いたすことになりましたのは皆様御存知のミツワ石鹸でございます。私共は實驗の上から承知いたしたのでございますが、專門家の御説を伺ひますと此ミツワ石鹸は日本人の肌膚の生理作用を學理の上から研究しました上で、是にシックリと適するやうに精製されたものださうでございます。して見ますと專門家の學理と私共の實驗とが、ピタリと一致いたしました譯でございます。此石鹸を毎朝の洗顔、毎日の入浴時に缺かさずお用ひ遊ばしますれば、肌膚へ其の鄙な鮮膚藥のミツワ雪の雫を塗りまして、程經ちましたところを擦り手拭で輕く拭つて置きますと、肌膚は此藥のために保護されて一層見事に健かになりますから、素肌で見ても美くしく白粉を施しますにものびが自在にいきますから生々とした立派なお化粧が苦もなく出來ます。

▲尾上菊五郎曰く　[illegible]カサ〳〵と音がしたり、[illegible]手先に荒れて居いてよるつたりしますのは、[illegible]からでございます。此の「うなこと」の冥く、[illegible]白魚のやうに美くしく、玉のやうに滑らかな手にいたして置きたいには、毎日ミツワ石鹸を用ひました後で、ミツワ藥雪藥を塗つて置くに限ります。これさへ怠りませんとどんな寒中でも、更に荒れるなどの心配はなくなりました。

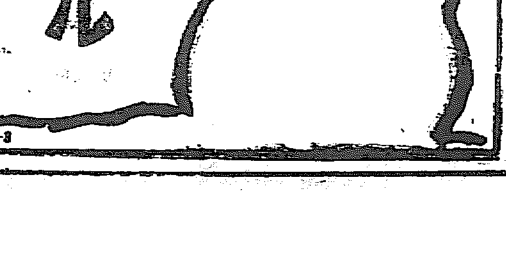
◎朝鮮行貨物特約運送開始御披露

拜啓　嚴寒の砌益々御清祥奉賀候毎々格別の御眷顧を蒙り難有厚く御禮申上候弊社儀從來鮮滿移輸入並に滿洲行貨物取扱致居り候處今般鐵道院より朝鮮行貨物特約運賃の承認を稟け朝鮮行貨物の取扱を二月一日より開始致候に就ては之が特技と經驗を有する從業員並に伸仕を増備し最も着實なる運送を實行すへく奮勉努力機宜に適したる御理想の御取扱可仕候間御後援的御同情を以て續々御出荷被成下度此段御披露旁々御願迄如斯御座候

大正七年二月一日

大阪驛前
株式會社　富島組鐵道部
電話北　五五八番　五三九番
通關係　電話長土佐堀七六四番

追て不日社員御地に出張何乎と運輸上の御協議御願申上べく候へ共不取敢紙上を以て御挨拶申上候



朝鮮學術研究會編
中學校　商業學校　高等女學校　高等普通學校
朝鮮入學試驗問題答案集
學生諸君…御待兼の入學試驗問題
賣切れぬ内に…買ふて入學の榮を得られん事を
四六判二百頁　定價全五拾錢　送料四錢
發行所　京城本町二丁目　電話二三七　振替二五三　ウツボヤ書籍店

安東辰四郎著
朝鮮鑛石鑛床採鑛法
四六判二百五十頁　定價一圓弐十錢　送料六錢
發賣元　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　電話六六〇番
賣捌所　大阪屋號　京城日報社代理部　巖松堂　日韓書房

朝鮮總督府編
朝鮮藥學醫學　植物調査書
四六判　定價九十錢　送料四錢

京城日報
二月九日朝刊(朝夕刊併せて八頁)

▲八日後場　大阪前止め商後寄小甘き入電に中二十一日十九錢より二十五錢先三十二錢高に寄付八錢と上伸[illegible]

本紙定價　一ケ月金五十錢[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奧田直[illegible]
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話編輯局[illegible]　振替[illegible]

京城日報

勞働運動

此度獨逸伯林に大同盟罷工あり、其目的とするところは、政府を促がして、速かに平和を恢復せしむるにありて、即ち是れ露國過激派政府の使嗾に出づるものなりと稱す。而して外國電報に依れば、露國過激派政府は、外國勞働階級を煽動するの大經費を立て、これが爲めに四億留を支出し、獨り中歐同盟諸國に對して、之を試むるのみならず、協商諸國內にも、手を伸したれども、英國政府に、早く其を防止し得たりと云ふに及びて其國の勞働者を煽動して、同盟罷工を行はしむるは可なれども、味方にまで之を企つるとは物騷千萬ならずや。

今日世間露國過激派を以て、獨逸の器械なりと爲す、蓋しレーニン一派が、常に獨逸に出入したる形跡あるを以てなり。然れども彼等は、寧ろ社會・共產主義若くは無政府黨と其臭味を同くする者にして、國際主義、平和主義若くは一般的大同盟罷工運動に依りて戰爭を制止し得べしと爲すものなり。今日交戰各國民、皆國を擧げて戰ひつゝあるの時に當りて、斯る空想的主義方策を取りて、之を動さむとするは、甚だ迂濶なるに似たりと雖ども、彼等の本來の立場より云はゞ、是れ亦敢て怪むに足らず。

初め千九百十四年七月、歐洲列國間の平和將に破ぶれむとするや獨佛諸國社會主義者は、一般的大同盟罷工を行ふて以て、國際戰役を絶滅し得べしと爲し、佛國のサンヂカリスト一派意氣最も盛なりしも、愈よ開戰といふ時に及びて交戰諸國民の敵愾心旺盛を極め、苟も非戰を言ふものは、其の身を置く處なき有樣となりて、果者大同盟罷工を説きたるもの屏息復た言はず、却て他の一般國民と共に戰闘に從事し、以て今日に至れり。故に此事實を觀るものは、乃ち彼等の國際主義、社會共產主義、平和論の如きは、畢竟浮誇自ら欺くものに外ならず、少くとも國家事あるに及べば、愛國心敵愾心は、直ちに此種の空想に打ち勝ち得べしと爲したり。

併しながら交戰者の國民心理は、主として戰局の消長に依りて定まる。其の飽まで戰ふの志あるは、最後の勝利を占むるの確信あるが爲めなり。若し戰は敗れて、自ら支ふるの望みなきときは、其の敵愾心愛國心も、時あつてや變化なき能はず。露西亞の如きは、外國と戰つて失敗を招く毎に、內憂を引き起し、遂に過激派の如き大革命を誘致す。而して其革命以後は則ち如何、敵軍リガを攻略して、新露國民之を爭ふの意思なく、假政府は、最早戰ふ能はずといふ悲鳴を遣して倒れ、過激派政府之に代りて立ち、專ら獨逸と和を講ずるに努め、其國內は四分五裂、復た收拾すべからず、過激派政府の如き根據なきものにして、猶ほ能く其命脈を保持するは、其の講和を云ふが爲めなり、レーニン一派即ち以爲らく、各交戰國民亦、戰に倦めり、故に勞働運動を激發するときは、則ち一般的講和を促進し得べしと、是れ今度の如き術策を弄する所以なるべしと雖も、各交戰者戰志猶ほ存する間は、勞働運動は其効果なかるべく、若し之に反して、交戰國民の意氣衰ふるに至らば、斯る主義主張を爲すもの獨り跋扈跳梁するに至るべきや言を待たず。

戰後の海運　競爭に對する各國の準備(四)

一九一四年政府は船舶登錄法を發布し一定條項の下に船舶購入法を制定して該法の下に船舶局の組織を見たるは既述せる所なり而して

▲政府の海運に對する態度　斯の如きものあるを見たる私人企業者は政府は將來海運業に對し必ずや之を無視する所なきを自信し新造船舶及び新造船所に向て巨額の放資を爲すに至れり之が爲め一九一四年以來米國海運界は船舶の新造及び購入に依て從來一百萬噸に過ぎざりしもの一躍して二百五十萬噸となり更に目下建造中のもの一百萬噸以上を數ふるに至れり若し現今の諸計畫にして全部實行を見るに至らんか數年を出でずして一千萬噸を有するに至るは敢て難事にあらざるなり今日の米國に在ては船舶增加に對してなし論議せらるゝ點に對し之を駁倒[illegible]方法に關してなり而して一派の論者は純然たる運業の國有論を主張[illegible]に對する

▲差別的關稅の制定を說き或るものは米國保護法に依て米國を他國との間に存在する造船費及び船舶運用費の差違を補償ふに足る直接補助金を交付す可しと論ずるものあり斯の如く諸說紛々たるものありと雖も要するに米國海運振興の成否は大部分政府の給與する補助金の程度に依るものと斷ずるは敢て不當にあらざる可し或る論者は戰亂は根本的に世界各國の競爭狀況を一變す可く爲に米國政府の援助は極端に及ばずとも米國海運業者の堅實なる經營と相俟つに於ては能く米國海運界の復興を來たすに足る可しと爲す反之他の論者は海運及び造船に對する米國の能力及び競爭力に對し悲觀に傾けり即ち戰前國民貿易會議に提出せられたる數字に依れば英國に於て[illegible]易會議の發表する所に依れば英國は米國に比し造船勞銀五割安く而も其の建造工程一割四分大なり之に依て見れば米國が平時に於て他國との競爭に對立し得るは唯立法手段に依る充分なる保護に依るの外なしと爲すなり次に米國の海運競爭力に關し重要なる問題は蘇士運河經由對巴奈馬運河經由に要する炭價問題なり國內に於ける英米間の炭價の相異が兩國間の造船競爭を決定する大要素たるは勿論地中海、蘇士、紅海に於ける英國炭價と巴奈馬、太平洋、米國貯炭所に於ける米國炭價の相異は日本、支那、濠洲、新西蘭及び太平洋岸に面せる一部の南米諸港と貿易する船舶が英炭を使用して新運河を經由するか或は米炭を使用して新運河を經由するかを決定せしむる要因たるなり單に海運に限らず總ての產業貿易の將來は一に炭價如何に係ると云ふも不可なきなり然るに

▲英國現下の諸事情は不幸にして英炭生產費を高價ならしめ從つて當に其の價格の上騰を來たさんとするの狀態に在り米國に於ては數年以前海運業の前途と炭價問題の密接なる關係を認め一般米國に巴奈馬運河經由の海運の可能性を確證せんが爲め專門家をして精密なる調査を遂げしめたり而して[illegible]各種炭の燃燒力各貯炭所に於ける炭價貯炭所間の距離、炭庫に積取る可き石炭の容積、各種船舶の速度及び噸數、航海日數等に就き詳細なる研究の結果戰前二箇年に於て發表せる其の報告書の結論を要言せば新運河は蘇運河に比し利する所多し且つ米國海運は英國海運を壓するに足る程度まで英炭に比し米炭を安價と爲すの可能を有すと云ふに在り而も本報告の發表以來英米國間に於ける

▲石炭生產費の相異は英國に不利なる不平均を來たせしなり近き將來に於て之が緩和を見るにあらざれば英國貿易產業は永久に苦悶を存むるに至る可し(朝鮮銀行調査)

募集要旨

我社今回の防寒建築案募集は、住宅を主として計畫發表したるもの、特に中流階級の住宅を標準としたるは、相當の資力ある提案採用の實行者、比較的多數なる可きを豫期せるが爲めである。玆に應募者諸君の參考に資するが爲め、左に我社今次の募集要旨を摘載す。

◆建坪　四十坪乃至五十坪迄　但し二階建設計の場合も延坪が此制限より甚しく超過せざる事

◆家族　夫婦老人一子供三女中一人下男一人位の家族を收容し得るもの

◆提案　平面圖、立面圖、設計說明書等を具備す可し

◆工費　坪當り百圓內外とす

◆特案　特に防寒設備を施したる構造部分の詳細の圖面及び說明書

◆寒度　京城=平壤兩地方に適當する程度の防寒構造

應募規定

(1)一人一案に限る(2)應募者諸君の防寒設計は、使用者等も多き中流家庭の住宅を主眼とするも、[illegible](3)應募者は必ず一案の平面圖、立面圖及說明書等を添付すべし(4)應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし、但し入選の場合發表の際は希望に依り匿名に代へなし(5)締切期日は來る三月十五日とす(6)入選者は來る四月一日發表とし一等より順次[illegible](7)應募者は京城日報社編輯局防寒建築懸賞係宛と朱書ありたし(8)提案原稿は返戾せざるに付豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の割當を以て我社は賞金を贈呈す

一等(一名)金百圓　二等(一名)金五十圓　三等(二名)金十圓宛

青邱詞苑

臨作八士屋稿山詞宗　樋田　天風

擲去功名避世塵。松風蘿月獨吟身。由來妙句皆天籟。聖世今人與古人。

蓄堂曰　天籟非人籟

其二

富貴榮華秋若塵。幽棲樹下一枝春。清風格以何比。寒夜梅花夢裏人。

蓄堂曰　[illegible]

其三

[illegible]

蓄堂曰　[illegible]

其四

高才[illegible]見健而闘。[illegible]

蓄堂曰　知足無不足。[illegible]

どうして

布施生譯

六十五

主婦は悸乎してそれからは國柄の言ふ儘に二階を自由に使ふ事を許した上自分も出來る限り助力する事を約束し殊に此事は決して口外せぬと云ふ堅い誓さへ立てた、好い話の種が出來た心算で得意に吹聽して廻られてはそれこそ堪つたものでは無い、國柄はそんな事の無いやう充分釘をさした上自分は馴染のペンキ商工へ驅付けて諸を描く道具一式と看板の招牌を二つ三つを借りてきて早速其の部工に化込み、例の赤丸のついた部屋の隣を借込んだ體にして窺に對手の樣子を窺つた、やつと聞いてゐると對手の一人はごほごほ咳の絕つた咳嗽をする癖がある、國柄は何も自分が隣にゐる事を隱す必要は無い、此奴一つ嘲弄つてやらうと盛んにごぼごぼ其の咳嗽を眞似た、假令隣の親子が隣に人が居るなと氣がついても偕其本人は眼の惡いよぼよぼの爺さんで戶を閉めるのも面倒なか夜も部屋を開放した上無暗に愛想よく會ふ程の人に挨拶して其合間々々には戶口異向ひの汚い卓子に凭れ懸り一生懸命に拙い書を描いてゐる、そんな人間に何の戒をする要があらう。

國柄が頻に咳嗽を眞似たので隣で咳嗽をして止めるかと思ひに隣の部屋の戶をどんどん蹴開けて恐ろしく粗末な聲で怒鳴りつけた奴があつた「畜生、厭な聲で小五月蠅く咳嗽をしやあがる、やい止めろやい、止めなけりや承知―」と言ひかけたのを優しい聲で宥める聲がして、「一寸往つて見て來ましやう」と言つたかと思ふと步調輕く、美しい娘がすつと國柄の部屋へ這入つてきた、國柄は、はゝあ之れが問題の瑠璃子だなと思ひながら、猶も頭を擧げずに仕事をしてゐると、娘は傍へ來て人懐つこく、「貴下大層お咳嗽が出ますのね」と聽かれ出る同情を溢らせて尋ねたが其言葉は自然に聞く人の腹の底に滲渡るやうであつた、「お治癒にならませんものですかねえ」と國柄は始めて仕事を押遣り眼を擦つて瑠璃子の顏を見上げながら「然う飛んだお邪魔をして恐入ります、なあに此病はこんな事はございませんよ」瑠璃子は起つてゐた屑籠を押遣つてするゝと老人に近寄り「いゝえ、私ちつとも介意ませんのよ、ですが父があの、いねね質は父が少々肝癪持でございましてね、時々は忿々怒鳴るのでございますよ、そんな事がございましても何卒お氣に障へないで下さいましね、ほんとに濟みませんねえ」

瑠璃子は古い襤褸くの衣服に粗末な屑籠を抱いて髮を無造作に束ねたまゝ別に氣取るでもなく國柄の前に立つたが其言葉や態度には自然の愛情と愛嬌とが溢れて國柄はこれまでこんな美人を見た事が無いとさへ思つた、そして當人を救出す爲とは言へ此樣風に身を窶して本人を欺すのを何だか罪が深いやうに感じながら氣が弱くては、と猶も川合詐を裝つて「嫌ね、そりや痛入つた御挨拶でごわす」全く腹の底まで滲渡りましたわい。」言つてゐる處へ、隣の部屋から親爺が焦慮て怒鳴る聲が聞れ出したので國柄は老人に腹を立させないやう早く歸れと瑠璃子に手眞似した

◇雜誌抄

二月と星(現代之科學)

▲水星(辰星)　此の星にして月始めには日出前一時間半に東天に見はるれども、のち漸次太陽に近づき月末に至れば日出前約四十分に現はる。天球上始め射手座中に在り急速に東方に運行し山羊座を經て水瓶座に至る。

▲金星(太白)　始め宵の明星なれども日沒後直ぐ沒し觀測に便ならず。十日には地球と太陽との中間に來り、のち曉の明星となり月末には日出前約二時間に東天に現はる。天球上、山羊座中に在りて徐々西方に運行す。

▲火星　夜半の少し前に南中し、天球上、乙女座中に在りて五日以後は逆行す。赤色一等星の光を增しつゝあり。一日及び二十八日には月と接近す。

▲木星(歲星)　日沒後間もなく南中し極めて著しき光を放つ。牡牛座中に在りて徐々東方に運行す。十八日には月と接近す。

▲土星(鎭星)　夜半の前後に南中し一等星の光を放つ。天球上、蟹座中に在りて徐々に西方に運行す。二十四日には月と接近す。

▲外に天王星、海王星等あれども肉眼に見えず。

民友社發行
蘇峰　德富猪一郎　監修(新荷著)
明治大正文學界の飛將軍
卅年間心血結晶の傑作集
愛山文集
總クロース上製　菊版千四百六十頁　定價金五圓　特價金四圓　郵稅廿四錢

山路愛山氏は明治大正文壇に於ける飛將軍の隨一人也。氏の文、其學、世間既に定評あり、其筆端の自在にして其趣味の多方面なる、其學の該博にして其觀察の奇警なる、何人ご雖も驚歎せざることなし。其三十年間の文壇的生涯に於ける幾多の述作は、等身の字も未だ足らず、不幸大志を齎らして長逝すと雖も、其一代の文運に貢獻寄與したるもの、何ぞ尠少なりと謂ふ可けんや。本書は氏が一生の述作に就き、其精を拔き其粹を萃め、之を五期に區割して編纂せるものにして、明治二十三年末に執筆して『女學雜誌』に揭載せる『英雄論』を以て始まり、大正六年三月其死前一日迄稿を續けたる『[illegible]』の一文を以て終る。其間作る所の史論、人物評論、時事論、隨筆、紀行等其重もなるものは殆ご網羅せざるなく、通編二百[illegible]章、或は史眼炬の如きあり、或は天眞小兒に似たるあり、長編[illegible]各々其觀を異にすと雖も、悉く是れ故人が心血の結晶にして其の眞傳たり。洵に天才愛山の名を永遠に記念すべき、唯一無二といふを憚らず。請ふ一本を購ひ天才奮闘の痕を此裡に驗せんことを。

發賣所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部　電話三二六番六六〇構內一八番
取次所　電話一一六六番　振替京城二四五四番　巖松堂京城店

博多株式取引所仲買人
公債株式定期現物問屋
塚田伊太郎商店
福岡市博多下鰯町
長電話五二七番二〇一八番

東京藥學專門學校教授執筆完成
藥學講義錄
▲廣告
本講義錄は東京藥學專門學校教授の執筆に係り[illegible]
▲見本　[illegible]
東京藥學會　東京神田區[illegible]　振替東京一三一七九　電話本局二五一九

日本一
時事評　浮田和民
經濟界の封健時代……[illegible]
米國の物語……[illegible]
舊布哇女王の死
現代婦人の思想[illegible]
餘裕ある生活[illegible]
秘密萬能の[illegible]
我陸海軍(法學博士)松波仁一郎
青淵自傳……澁澤榮一
御製英譯……[illegible]
小唄供養　小杉天外
英雄と遊里問題
資產界の百不思議
露國の前途　中島信虎
株式投資の研究
文士成金評判記
大阪陣　福本日南

優等清酒

廣島縣西條町　釀造元　木村[illegible]
京城府鍾路(一)　發賣元　河野[illegible]

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（八日）

▲共通法委員會

八日午前十時開會德川委員長以下出席前回に引續き質問を繼續す

▽富井政章氏　本法中轉籍の規定無きは如何戸籍法は植民地に行はれざるを以て轉籍の自由を得ざるは遺憾なり

▽山田參事官　孰れ其の點に就き何等かの法案を提出する必要あり

▽富井氏　本法を以て之れを規定し能はざれば如何なる形式にて解決するか

▽山田參事官　研究中にて未だ決せず

次ぎに河村讓三郎氏は民法上戸籍に關し江木翼氏は關東州の戸籍に關し山田參事官、若宮管船局長と問答あり之にて質問終了し正午散會したるが次回より討論に入る筈

衆議院（八日）

衆議院は八日東京帝國大學及び京都帝國大學臨時政府出金繰入れに關する法律案外一件委員會、遠洋漁業獎勵法中改正法律案委員會を開催せり

には架線多し鐵材料缺乏の今日果して大正十四年迄に完成の見込ありや

▽河内山政府委員　政府は軍事上の必要よりしても最善を盡して完成を期す

▽政尾藤吉氏　七千萬圓の追加事業公債は咸鏡線の建設改良車輛増加の費用のみなりや其の他に支出す可き費用割當額を聞かん

▽鈴木度支部長官　建設に於ては咸鏡線四千五百五十一萬六千圓鐵道線二百四十一萬六千九十九萬二千圓合計六千二十萬平均坑線八十三萬八千圓車輛五萬五千圓及び改良費千百十一萬六千圓なり（電報不著）

▲第三分科委員會

七日豫算第三分科會委員會に於ける重なる問答左の如し

▽牧山耕藏氏　[illegible]

▽河内山政府委員　[illegible]

と事情を異にするものあれば一樣に爲し難し

▽牧山氏　政府は朝鮮拓殖銀行を組織せんとす其の内容如何

▽河内山政府委員　普通銀行の例に倣ひ頭取は政府が任命し理事取締役は株主中より相當の者を銓衡せん而して朝鮮人を重役とするや否やは創立の上ならでは未定なり

▽吉植庄一郎氏　拓殖局に依り吾人は植民地間及び植民地と内地との連絡統一を豫期せしに今回の豫算に就て見れば期待に反せる如し如何

▽白仁拓殖局長官　拓殖局の設置日尚淺くして且つ其の設置は豫算編成期に際し各植民地を統一せる豫算の編成を不可能とし爲めに今回の豫算は全く各植民地にて編成せるものを大藏省に取次げるものなり次ぎの議會に提出す可き豫算に就きては今期の限りに非ず各植民地母子國間の連絡に就きては官制上の權限の範圍内にて大いに努力せん

▲朝鮮事業公債委員會

朝鮮事業公債法中改正法律案特別委員會に於ける重なる問答如左

▽川崎克氏　朝鮮鐵道工事に不正行爲ありしは畢竟指名入札の弊ならずや將來競爭入札とする意無きや

▽鈴木度支部長官　從來鐵道の請負工事は指名入札を以てせり當局にても成る可く請負人の善良なるものを選びたるも其の間二三不正行爲ありたるに對しては當局も非常に迷惑を感じ居れり將來は大いに考慮する心算なるが一面競爭入札を以て工事を請負はしむるときは工事の進行甚だ捗どらず種々弊害あり却て不良なる結果を來す處あれば當分の内指名入札とし滿鐵に委託せり

▽鵜澤宇八氏　鮮鐵を滿鐵に請負はしむる理由如何

▽鈴木度支部長官　昨年勅令發布され滿鮮鐵道統一せる爲めなり

▽鵜澤宇八氏　咸鏡鐵道線[illegible]

◎露羅交戰の詳報

露國過激派は[illegible]羅馬尼軍はキシネフを占領し[illegible]

◎小露首相の新任

[illegible]ウイツチ氏は[illegible]講和委員長ホルボ[illegible]

◎露國の政教分離

露國の寺院は國家より分離し[illegible]の財産は人民の所屬たる可しと宣言せる布告發せらる

◎米國決議に贊成

米國官憲は聯合國最高軍事會議の決議に對し全然贊成の意を表せり（紐育電報）

◎伯林宮殿に爆彈

▽同盟罷業者の所爲

獨逸同盟罷業者は伯林宮殿に爆彈を投下せり右に關し詳報の發表を許可されず（紐育電報）

◎一般講和協議說

キユールマン氏、チエルニン伯、ルーデンドルフ將軍は四日伯林に到著せるがこれブレスト、リトウスク講和商議の不調を示すものなりと一說に依ればこれ一般講和を協議せん爲にて勃牙利首相ラドスラヴオフ氏及び土耳古宰相タ－ラツト・パシヤ氏も亦伯林に來る筈なりと又一說には右は同盟罷業に關し食糧問題を協議せん爲なりと（倫敦電報）

◎岳州陷落影響

漢口打擊甚し

行等にも相應の預金者あり單に元銀の利息等を要せざるのみならず保管料を支拂って之が保管を賴む[illegible]るに目下蔽積貨物は主に雜穀油類なるが入荷品比較的少く棉花の如きは外商に向け輸賣を試むる有[illegible]

◎獨逸造船補助

二十億馬克に達す

至二十億馬克に達すべき見込なる由にて右補助金給與問題の進捗と共に其當然の影響として各地[illegible]

◎印棉增收計畫

輸出稅收入にて

棉質の改良を提案せりとあり右の棉花調查[illegible]の性質如何なる權限を有するもの[illegible]花改良問題は多年英國紡績業者の懸案にして世界棉花需給關係は均衡を失せる見地より英國政府は今に綿質の改良を爲すべし[illegible]千萬俵に增加すると共に英國に製造すべき綿絲原料に相當するよう[illegible]

◎輕鐵速成會

全南に於ては五州輕鐵の第一期線を是非共同道より著手せしむべく關係各地呼應して輕鐵速成會を組織し十日光州に於て大會を開催する趣なるが各地有志の參加希望者多しと

◎清津木材界好況

昨年中清津港入木材は主として[illegible]の産にして約三萬六千尺締に達し内五千尺締は内地阪神地方に移出され尚ほ殘部二萬五千尺締は清津地方に於て需要され現存木材は約六千尺締なるも此五千尺締は[illegible]に於て本年度羅南兵營工事に使用すべく買收したれば目下市中商人の手にあるは一千尺締なり而して昨年相場は尺締七圓内外なり

◎京畿叺繩莚製造高

大正五年十一月より客年十月迄の間に於ける京畿道管内繩叺莚製造狀況を聞くに改良叺總製造三百四十七萬三千四百十七内販賣二百十四萬九千零四十九在來叺總數二十二萬二千零十内販賣五萬五千十七改良莚卅六萬七千七百七十[illegible]

◎八回移民先著

東拓第八回移民の來鮮期は二月中旬よりの定めなるが同社釜山出張所よりの報告に依れば既に來著者あり[illegible]

▲在鄉軍人會

在鄉軍人京城分會にては當日午前九時[illegible]司令部道場に於て遙拜式を擧行する由

◎紀元節祝賀

司令部總監部

來る十一日紀元節に於ける憲兵隊司令部總監部の祝賀次第を聞くに如左

▲午前十時より司令部總監部別に一同整列の上高級者の祝辭を述ぶ▲總監部高等官判任官同待遇者一同代表して祝賀を受く▲總監部各部長の祝賀を受く▲司令部は司令部附勤務者及び警務部長各總代の祝賀中報を受く▲參賀室は司令部第一應接室とす▲參賀者は廳南側の中央を開き[illegible]

◎日賀田男一行

九日歸朝

目賀田男一行は九日横濱入港の汽船にて歸朝の筈なり（東京電報）

七内販賣十二萬九千八百七十三在來莚總數十四萬三千八百四内販賣二萬四千三百六十八繩總數二百七十一萬四千九百十四内販賣六十四萬三千七百八十六なりと而して前年に比し改良叺及び繩製造の増加せるは船腹不足にして内地品の輸入困難なりし爲め品不足なりし爲めに一方物價騰貴に伴ひ價格の有利なるを自覺し當局も獎勵を加へたるに依るが叺繩製造の如きは前年に比し減少したるは改良叺の用途増加し製造困難取扱不便且つ需要少く取引容易ならざる爲め從來叺繩を製造せしものも改良叺の製造に力を注ぎたる爲め也と

◎京畿桑田反別

大正六年中に於ける京畿道管内桑田反別狀況を聞くに[illegible]反新設[illegible]

◎道内土木工事著手

京畿道にては[illegible]

◎倉庫營業開始

滿鐵京城管理局にては新安州及び黄州に營業倉庫を設け九日より營業を開始したるが當分の内貨物寄託の外取扱をなさずと

◎漢銀釜山支店認可

漢銀釜山支店設置の件は二月四日附總督府より許可ありたり

◎候補生見學

[illegible]八日午前十一時仁川入港の[illegible]候補生は同日午後一時京城南大門驛著入京[illegible]十九分南大門驛著仁川より京城龍山市街展望[illegible]

◎京春交通狀況

京城春川間の交通路たる京春道路に於ける新延江は昨今暖氣の爲め漸次解氷し爲めに河の中央は氷結薄く牛馬車の交通危險の狀態なるより目下牛馬車、自働車等の通行全く杜絶し京城春川間自働車は雙方より中繼ぎを爲し連絡を保ちつゝあるが行人の氷上渡涉には未だ何等の支障を認めずと

◎朝鮮の船體保險

朝鮮海事法規の整備により東京海上[illegible]

◎久保局長歸期

湖南線に於ける現業從事員慰問の爲め出張中の鐵道局長久保要藏氏は八日全州より群山に至り九日午後九時南大門驛著列車にて歸京す可し

◎海員試驗受驗者

二月十五日[illegible]より引續き[illegible]海員試驗は受驗者非常に多く[illegible]

◎[illegible]大佐巡閲延期

[illegible]

◎龍濟光廣東攻擊

龍濟光氏は自ら兵を帥ゐ廣東を攻擊せんとし馮總統の批准を得たり（東京電報）

◎北軍岳州奪還說

北軍は岳州を奪還回復せりとの說あり（北京電報）

◎雲南軍徐州回復

雲南軍は徐州を回復せり（北京電報）

◎四鄭鐵追加借款

四鄭鐵道の追加借款日本金にて二百六十萬圓を七日午後正金銀行と支那當局との間に調印を了せり右は材料騰貴、銀價昂騰に依る資金の不足を來したるに依ると（北京特電）

◎百聞百錄

獨逸では[illegible]に關する小冊子が戰線などへも盛に配布されて居るが其中の一節を譯して見ると「行軍の兵士よ諸君が諸君の家庭に歸る日や遠し故に諸君の妻は暫く嫉妬の念を腦中より一掃し祖國に對する義務を思へ▲獨逸の女子の愛國心は塹壕にある兵士に劣らず諸君は獨逸國内の空虚なる揺籃に子供たからしむべからざるを記憶せよ」▲又た未婚の兵士に對しては「諸君が歸休の日來るときは直に相思の女と結婚せよ若し相思の女なくば歸休の一日健康なる女子を擇びて妻とせよ」と頗る振ったものだ▲之等の目的は勿論戰爭の爲に人口の減少を防ぐにあるが公然に博愛主義の獎勵は獨逸ならでは見られぬ圖だが隨分思ひ切つたやり方だ▲最一つ獨逸で振ったのは二枚以上の著物を所持する事を許さず檻褸になれば夫れを持參して官憲の許可を得ねばならぬ▲處で平生餘り質のよくない奴は官憲の眼が光つて「此奴も少し檻褸を著せておいてやれ」と云つた風に何時迄も衣服の新調を許可せぬそうだ▲之れは大分弱るらしいが百聞子などが獨逸へ行けば年中檻褸の著通しだらう桑原々々

人事消息

[illegible]

□本浦短信

▲拜賀式　十一日紀元節には例に依り午前九時より十時まで府廳に於て拜賀式を擧行し學校にては[illegible]▲加留多會[illegible]十日同本願寺にて開會の筈にて同日は盛會なる可し▲府尹上京　橋本府尹は六日上京せしが滯京は三四日の豫定なりと

◎[illegible]

▲赤十字愛婦會計檢查　赤十字社及び愛國婦人會朝鮮本部にては毎年の例に依り總督府會計官吏の好意に依て此程數日間前年に於ける會計檢查を受けたり

◎青木農務課長歸任

平南方面に出張中なりし青木農務課長は七日午後七時二十五分南大門驛著列車にて歸任せり

て三十人元山にて三十名義州にても約三十名の受驗申込者ありと

醇良清酒

大阪府堺市　醸造發賣元　肥塚源次郎

京城本町一丁目　電話長二九番　特約販賣店　佐藤牧太郎

大阪屋號書店

最新刊
[illegible]

善隣商業學校生徒募集
○本科一部二部豫科各一年級
○夜學專修科商業科各級
○出願期日自二月一日至廿五日
○規則入用者郵券二錢要送付

▽流行燈袴▲
特價金九圓也
◎純毛にして色合は最流行良色
◎世間有りふれたる内地製品にあらず
◎純英國製にして「シワノヨラヌ」保證
事に五十枚賣出し非常の好評數日ならずして品切れとなりしもの右更に參拾枚限り特價販賣仕候至急御注文願上候
京城太平通一丁目　京城日報社代理部

朝鮮彙報　大正七年二月號
毎月一回（定價二十五錢）（郵稅二錢五厘）
口繪
▲朝鮮の鹽
調査及研究　▲地價綱要
地方事情　▲任那に就て　京都帝國大學助教授　今西龍
雜録　▲在鄉軍人會の發展を望む
統計
取扱　京城本町　ウツボヤ書籍店

朝鮮諸官廳受驗叢書　全成完部
京城專修學校教官　安達大壽計著
受驗提要　全一册
朝鮮公文解釋　全一册
朝鮮六法要論　全一册
朝鮮行政法規大意　全一册
會話譯文速成　全二册
作文軌範　全一册
法律問答　全一册
法律講義　全一册
以上定價各四拾錢送料各一册金四錢
發賣元　京城日報社代理部

地方各位に謹告
拜啓凡そ今日の商業に於て時勢に適し且つ取扱の迅速を期せんとするものは委託賣買に依らざるべからざるは世人の既に熟知せらるゝ處に御座候得共若し信用と資行とが相伴はざるに於ては折角の便法も全く無効に歸するもの御座候弊部に於ては此點に注意し信用ある確實なる業者と相談し大に斯業の擴張を圖り海陸物産の委託賣買注文品の應酬並に代金引換等を敏速に取扱ふ事に致居候間倍舊の御愛顧を賜り度此段御願申上候敬具
京城蓬萊町二丁目　四海物産委託販賣部
主　梁柬洙
主務　梁桂玩

住宅問題

▽日本室の間に
温突を挾む
防寒的の住宅は暑熱を防ぐ事も出來る
皮革會社専務 佐藤秀光氏談

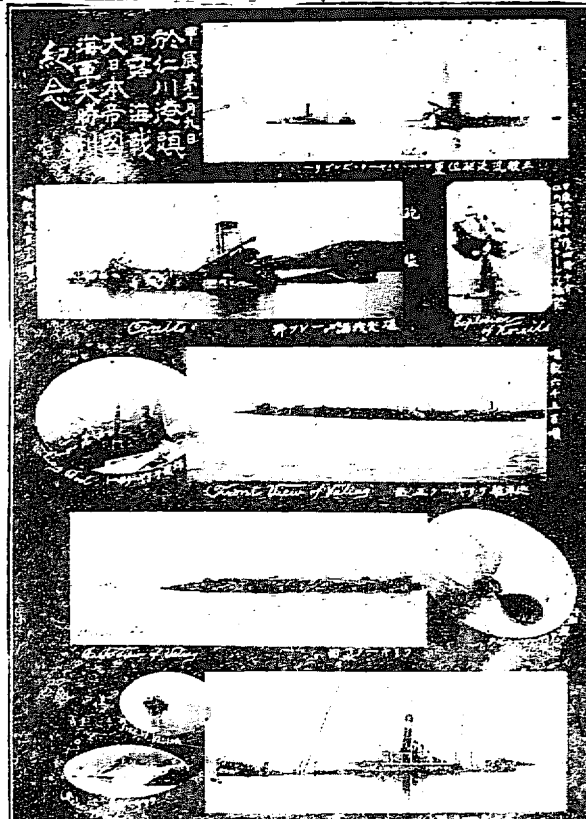
現今世界に於ける大都市として推賞するに足る市街の所在地たる合衆國、露西亞、獨逸英吉利等は大抵日本内地より寒氣が烈しい地帶で各都市共に各々其の地方の温度に適應して

▽防寒耐熱的な
建築法と諸施設を完備して居り又寒國の稱ある露西亞の如きは理想的に防寒的建築を爲し居るのみならず火氣のある煖爐を壁間に通ずるとか或はペチカに據る採暖方法とかの爲に室内の空氣は常に相當な温度を保ち寒さに慄へると云ふ様な事は斷じて無いのである、然るに我が朝鮮に於ては未だ防寒的家屋建築法の考究されるもの殆んど稀れで其の氣温は北米合衆國の東部地方ボストン、ニューヨーク、シカゴ方面に酷似して居るに拘はらず建築は粗雜な純日本式若しくは

▽不完全極まる
折衷式に準據しあるものが多いから一度寒氣が襲來すると起居動作の自由を缺き延いては人の仕事の分量に深甚な影響を及ぼすもので之が完全を期すると云ふ事は必要缺くべからざるものだらうと信ずる、自分は昨年て耐寒の思想さへ涵養すれば其の住宅の如きは敢て意とするに足らぬと云ふ意見を持つて數年來幾分攻究する所もあつたが基礎工事及び壁等に就いては吉井徳藏氏の談と略同様の意見であるから贅言をはぶくとして自分が住宅を建築した經驗に就いて語れば自分の家では日本室の間には必ず温突を挿む事にしたので別に

▽採暖の設備も
無いが火鉢一個で今冬の一番寒い時ですら華氏四十五度以上の室内温度を保ち得た、尤も自分は基礎工事と窓と言ふ事を主眼とした丈けであるけれども世間で良く聞く様な薪はいくら焚いても温まらない、床ばかし熱くなつて室内は冷たいと言ふ様な事も無く八疊の温突は貰半把の薪で優に室内温度六十五度を示すことが出來て羽織も足袋もいらないと云ふ譯であつた、應接室は洋式の[illegible]なり廣い室だが獨逸製の小さな煖爐に煉炭二個で翌朝迄は温かい、要するに之れは基礎工事及び窓の設備に基因して居るもので他に何等採るべき設備は施して居ないのである元來窓と云ふものは

▽採光にも換氣
にも極めて有効なもので唯だバツとした日本間の戸障子よりも遥かに優越した地位に置かるべきものたる事を經驗したのである要するに防寒的な住宅は又暑熱を防ぐ事も出來るもので和洋折衷の如き建築法は換氣、採光にも適して居て朝鮮の如き寒國には適當したものとして推賞するに足ると言はねばなるまい



◉屍體は海底で凍結せしか
麗水丸遭難後聞

忠南舒川沖に於ける麗水丸遭難者の搜索は全州丸錦江丸の兩船引揚げたけれど當局は尚ほ朝鮮で漁船や警備船の搜索を繼續して居るが其後の情報によると遭難場所附近の

▲海水は海底 に入るに從ひ非常に冷却してゐてダリの如き海底で少し屍體の搜索をすると云ふ位だ、手も足も紫色になるさうだ、依つて多分遭難者の屍體は海底深く沈んで凍結してゐるだらうとの事である、屍體は海中で凍らなければ瓦斯を生じ浮揚するけれど凍結すれば其の凍結が融解するまで浮ばない加ふるに

▲海底は泥が 餘程たまつてゐると云ふから到底急に屍體を出す事は困難であらう、現に麗水丸の遭難者の屍體は海中あの邊で遭難したものは暖かになるまで浮んで來ぬと云ふ[illegible]になつてゐるらしい尚ほ麗水丸の散逸狀態は實に甚しいもので船底は遭難現場にあつたが各部はバラバラになつて

▲遠近の島嶼 に散らばつてゐる夫れが今回麗水丸の遭難した情態は海圖に記載ないもので最近十潮に浮び出るものらしく全く其の[illegible]

◉露艦爆沈の跡へ投錨
▽仁川へ入港した練習艦千歳
朝鮮の異風俗に興がる候補生
教育司令官からも[illegible]
千歳艦長 白根熊三大佐談

「今度は思ひがけなく這入つて來て、仁川海戰の時露艦のワリヤークが爆沈した所に錨を下ろし[illegible]」一八日午前十一時仁川に入港した[illegible]

▲小月尾島沖 [illegible]練習艦千歳の艦上で[illegible]

▲旅順を攻擊 して[illegible]十日に牙山沖に引返して[illegible]

□一夢疾くも十五年
日露開戰最初の火蓋を切つた記念すべき仁川海戰

明治三十七年二月初旬東亞の天地風雲急を告げ將に千鈞の重きを一髮に繫ぐの危機、列國の耳目は悉く仁川港頭に聚つた、果然開戰の詔勅に先つこと二日、二月九日午前九時、瓜生司令官の率ゆる淺間、千代田、浪速、高千穗、明石、新高の主艦が威風堂々遠謝を壓して遥か八尾島沖に其の勇姿を現はすや恰かも港内に碇泊して居留民を

◆◆威脅 した露艦ワリヤーク、コレーツの二艦に向つて其出港を促した、應戰を餘儀なくされた敵艦は流石に觀念の臍を堅めて健氣にも檣頭高く戰闘旗を翻へし碇を拔いて出動する、今や遲しと待ち受けた我が主戰艦千代田淺間の艦は砲口を磨いて分秒を計る、刻々の距離は近づいて午前十一時五十五分は來た、あゝ此時

◆◆世界 史上に特筆すべき日露開戰の第一歩劈頭を飾る一發の海戰は開かれたのであつた、仁川港頭の海波搖ぎ硝煙濛々蔽ひ天日爲めに暗く地動き爆彈飛ぶ、斯くて交戰四十分彼艦は艦腹傾きて火を發せるコレーツは午後零時三十分港内指して遁竄すると戰闘力を失つたワリヤーク亦之れに續く、午後四時、天運既に定まれるを覺悟したコレーツ先づ夕暮の空に一大

◆◆爆音 を殘して自から水煙の中に艦影を沒すると續いてワリヤークは火災を起して海底深く藻屑と消えた、露國運送船ズンガリー亦火を起して自沈する、斯くて日露交戰劈頭に敵艦を一發の下に葬つた我が艦隊は威風堂々一路旅順に向つたのである、あゝ旅順の昔、仁川の昔は早くも既に十五年の昔となつて感慨更らに新たなるを覺ゆるのである

◈木越旅團上陸

是より先き風雲日々に險惡となり戰機早くも頭上に迫りて物情恟々たる折柄情報頻りに至つて露國の軍隊が千山へ上陸すべく旅順を出航したとの報に接すると仁川居留民の騷ぎは一方でない、早くも運命の臍を堅めて敵兵早きか我軍遲きかと其日を待てる折しも二月八日一隻の運送船は我が軍に

◆◆護衛 せられて仁川へ入港すると敵艦を横に控へて投錨した、木越旅團の敵前上陸である、危い哉、砲口一發轟然と響けば脆くもそこに粉碎さるゝのであるが

◆◆毋及 の斧を揮ふに出なかつた敵艦は[illegible]我艦隊の威嚇に恐れ[illegible]空しく砲門を擬して我が軍の上陸を眺めた、二月八日の夜先の不安は何時しか消えて仁川居留民は如何に歡喜して此の軍を迎へたか港内波靜かにして幾多の艀船は續々棧橋に運ばる、此の時居留民は軍の上陸に便する爲め埠頭に一齊に篝火を焚いて炎々たる焰に其の熱誠を罩めた海上陸に

◆◆銀波 搖らぎ金波跳り馬嘶き、砲車軋る、篝火の影に劍光燦いて軍旅の一夜は眞に壯絶を極めた居留民又眠りを成さずして軍を犒らつた、爾來每年この夜を迎ふる每に仁川の埠頭は篝火の焰に天を焦して當時を偲ぶのであるが歳月徒らに流れ一歩遠くして疾くも今宵は十五の記念日を迎へた

▲異つた風俗 に驚いて居る[illegible]

▲元氣に練習 して居る[illegible]

◉賣上七萬圓
初入札好人氣
[illegible]

◉佐世保に歸 る[illegible]

◉三兒を産む
市内西大門[illegible]鶴雄氏(假名)の夫人某女は二月六日夜姙娠十一箇月にて目出度く男の三兒を安々と産落し目下母子共に健全なり[illegible]

◉麗溫に屍體
[illegible]

◉貸して毆る [illegible]

學校めぐり
▽朝鮮幼稚園
[illegible]

[illegible]幼稚園とは丸つきり[illegible]方針が違ふ様だ。[illegible]すべて小供に對して嚴格な態度を取る。獨樂を廻す者、中には李公殿下等も餘程腕白な方で白羽二重のツルマキを着て他の園兒等と盛んにいたづらをしてゐられたと京口保母は『殿下といふものは偉いものだから大人しくしなければなりません』

◉日本組合京城基督教會(南米倉町)二月十日 前九時半[illegible]前十時半[illegible]

[illegible]

急告
豫告中の最新朝鮮地理一般より非常の御期待を蒙り續々御下命に接し居り候處印刷校正に案外手間取り候切に御期待に背かざらむが爲め十二分の注意を拂ひ居り候遺憾ながら發行遲延二月末日頃に相成可申候に付不惡御承被下度此段謹告候也
京城太平通[illegible]
京城日報代理部
電話六六〇番 振替京城三〇〇番

周易高島長知 [illegible]

京日案内

[illegible]

內地人乳母入用 本人來談の事 [illegible]町一丁目 白上

社員募集 [illegible]

店員 [illegible]

乳母入用 [illegible] 錦織

車輪板ロクロー 本明雜木店

質 杉本質店

恩給 年金 立替 西村商會

鑛物各種分析 松永分析所

內科 眼科 小兒科 本田醫院 京城黄金町三丁目(赤門通電車停留所前) 院長本田[illegible] 附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四三番 振替京城三三八番 肛門病の話(痔疾根治注射療法解說書)入用の方郵券十二錢要す

純良の藥品と賣藥が揃つて居ります クラブ化粧品代理店ですから三神箭がお安いです 京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七番

人事 百般 周旋業 京城府明治町貳丁目 電話[illegible] 萬年社

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話一四九 八四五 四四九 振替京城五七番

日鮮會話精通
朝鮮總督府判任官通譯生 京城商業學校講師 西村眞太郎著
袖珍型クロース製美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は遂に本書を購求せられよ
一、既に同氏の前著『朝鮮語會話』を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渴望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

旅行具專業 岩田鞄店 京城本町二丁目 電話九五四番

[illegible]市場は蘇州陷落し攻擊の殊に一層の打擊を蒙らんとする形勢あり、商民の多數は避難の準備を爲し現銀を外國銀行に預金せんとする者多く我正金住友銀[illegible]も途中の危險を恐れて停船し金融業者亦嚴重に警戒する爲め貨物の移動は著しく澁滯しつゝあり漢陽に於る主なる支那商の各倉庫を見るに[illegible]樣なるも其の價高多からざるが如く時局の前途見定め付く迄は市面の復舊は到底望み難きの情勢に在り(漢口發二月[illegible])

[illegible]に對し一定の補助金を給與するの法律を發布したるが該法案委員會に於ける政府の言明したる所に依るに右補助金全額は結局十五億乃至[illegible]事頗る頻繁なりしが右法律の議會通過(十一月上旬)以來益々[illegible]勢を助長するに至れりと([illegible])

[illegible]孟買市場に開催されたる印度棉花調査委員會に對し孟買紡績聯合會より棉花輸出を禁じ其の增收を計り其收入を利用し[illegible]案の提出は直に政府の容るゝ所となり來る三月の議會に提出さるべきものと見るは早計なれど少くも其實行を見るを得べし因に[illegible]畫を立てたることありしも失敗に終り結局印度を唯一の供給地とせる關係より更に千九百二年孟買紡績聯合會は棉花重額五百萬俵を一[illegible]となり今日に及べるものなり([illegible])

櫻御殿

第百四十六回 大阪 霞の家主人

殘月（三）

『おゝ桐島様、あなた何處へ行つて居らつしやいました、先刻からお姿が見えませんので、何様に心配したか分りません』

宗藏は桐島の面を見ると云つた

『どうも御心配を掛けて濟みません、まうして有村様の御容體は如何でございます』と桐島は心有り氣に訊いた

『一時ほど前から、すや／＼とお寢みでございます、此の御様子なら、今日は必ず御快方でございませう』

『何卒か、痛うなれば宜しうございますが』と心嬉しく側へ寄ると初瀬はげつそりと痩せた姿を、太綿織の夜着に包まれて、穏かに眠つて居た

『眞に樂々と眠つて在らつしやる是も單に神様の御加護であらう』と思ふについて信心が肝に銘じた

そこで祠のある方へ身を向けて、心に所念を合せながら伏拜む

『もし、お客さま、ちツとお宜しい方でございますか』

家の主の百姓が顔を出した

『種々御雜作を掛けて濟みません、お蔭さまで今朝は大分好いやうでございます』

『もしお粥でも召し喫るのでございましたら、いつでも調へてお上げ申します』

『有難うございます』

『然し、あなた方は一日早く紀州領へお下りになつてお幸福でございました』

『それは何故でございます』

『昨夜から領地境へ新關が出來ましたよ』

『へエ』と桐島は吃驚した

『何うした理でございませうね』

宗藏も側から訊く

『詳しい理は分りませんが、大阪のお役人が澤山お出張りでございます、此の邊での下馬評では、何でも飯道人が牢を破つて逃げたのだとか申します』

『それぢや通行は能きませんな』

『嚴重なお調べがあるさうでございます、或る者の申しますには、秀頼公を殺さうとした惡人の惡事が露顯て、お手當になるのだとか云ひます、何れにしても古いことぢやありません、大阪のお城も大分影が淡いやうでございます』

桐島はその話を聞いたとき、自分の父に掛る詮議ではあるまいかと不圖思つた、別にさうした根據があるのでは無く、稻妻が一時に光つて、一時に影を潜める如くさう思つた、宗藏は餘所々々しく

『何だか物騒な世の中でございますね』

『今にも合戰が始まりはしないかと思ふやうな恐しい世に變りました、新關が何時まで續くか存じませんが、旅の者はさぞ迷惑する事だらうと思はれます』

『紀州領は太平で結構ですね』

『御領主の淺野様が確乎して在らつしやるから、百姓までがお幸福を致します、何れにしても旦那をお大事になさいまし』

主人は親切に云つて去つた、初瀬はパチリと目を開いて

『新關が出來たとは思ひ掛けぬことぢやのう』と云つた

『旦那様、お目覺めでございましたか』と宗藏は驚き訊ねる

『先刻からの話は聞いた、秀頼公を殺さうとした惡人とは、聞き捨てにならぬことぢやの―』

『罪惡でございます、大阪のお城も、これぢやお沈淪でございますね』

『快く寢た所爲か、今朝は大分快いやうぢや』と云つて枕頭の桐島を見て『初瀬、何時お歸りなされたな』

桐島は、初瀬の好い機嫌を見、柔かな聲を聞くたび、嬉しさに胸が躍つた

乾草を鋪道用材にす

◇植物纖維例へば乾草藁木葉若枝等を道路假修繕用の材用に供することは珍らしくないが米國ウイスコンシン州にある總計約七百哩の砂地道路を乾草或は藁とコールタールを混じたる物を以て永久的の鋪道(通敷)とする同州々道委員會の計畫は其鋪道が永久的たるの規範が大なる故を以て大分人の注意を惹いて居る

◇右の總計約七百哩の砂道路は何れも甚だしき惡道路で其内には過度に乾燥した日及び雨天の日には交通が遮斷さるゝほど惡い狀態のもある爲めに其一部分に粘土乾草等を敷いたこともあつたが單に一時的の改良で間も無く元の惡道路に戻つた、此等の道路を乾草或は藁雜りのコールタールを以て鋪ふ前記の計畫は最初道路技手ハースト氏が工夫したことで、是がウイスコンシン州々道委員會の採用する所となり遂に昨年八月試驗的に種々の構造の乾草雜りのコールタール鋪道が僅かに造られた

◇其後六週間の經過に徴すると此鋪道に何の故障をも生じないので昨年十月猶ほ試驗的に延長一哩に亙る此種の鋪道が造られた以後今日に至る間に此鋪道上を數多の重車が通過した結果愈々砂上の鋪道として乾草或は藁雜りのコールタール鋪道が適することが確かめられたウイスコンシン州々道委員會は七百哩の砂道路を殆んど全部この種の鋪道にする計畫を目下進捗せしめて居るが其結果は啻に實際の交通を便にするのみならず將來鋪道建設上大に參照すべきことゝ思はれる

讀者の領分

▲朝鮮ホテルのボーイは正直でいゝが時々茶を註文するとお茶をしてもそのまゝ持つて來たり外套を二三たり外套と一緒になつてる探偵は持つて來たかつ[illegible]

▲京城では物價を釣り上げる奸商があるさうだ物價調節の無い鮮人[illegible]

▲この頃は暖かくなつたので大きによくなつたが先[illegible]

下關期米 當限 二四、〇〇 中限 二四、七九 先限 二四、七四

大阪期米 △八日後場 ▲當限 ▲中限 ▲先限 寄付 二十五圓三十六錢

質 京城太平通二丁目 本多質店 嚴密精々高價御預

名刺 京城 太平堂 電話二七一二番 振替二三六七番

院長 醫學士 森定吉 (実家醫院改め) 内科 小兒科 森病院 京城明治町二丁目七五番地 電話二六二三番

皮膚 黴毒 淋病 時計 生殖器 泌尿器 科 佐藤醫院 京城明治町二丁目 電話一七三三番 日曜祭日午後二時迄

時計各種 金、銀、ニッケル側 寫眞機各種 京城太平通二丁目 京城日報社代理部

◎報能 初日

最上醬油 朝鮮仁川 高松醬油釀造場

是の冷へる方は命の母が第一等

強胃消化劑 マーゲン

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱覽 司法大臣松室致閣下題字 加古貞太郎先生序文 小笠原覚先生序文 越智唯七編纂

朝鮮の所在地を示し末尾に朝鮮の沿革、日鮮清西歴對照年號を示し官廳其他の概況を掲げ道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し末尾に朝鮮の沿革を初め政治家、實業家、學者、交通、産業其他の各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、温泉其他の關係は諸事日本書は官廳を初め政治家實業家學者交通産業其他各道の廣袤交通產物名稱舊跡溫泉其他の關係は勿論內地と朝鮮との關係に於て益々其の必要なること敢て多言を要せざるへし

大日本政府登録商標 "PINE" パイン萬年筆 愈々書き具合能しとの定評を得たる萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず

安蘇谷四郎著 朝鮮鑛石學探鑛法 ウツボヤ書籍店

朝鮮鑛業令 朝鮮學術研究會編

改訂五版 朝鮮商業提要 京城日報社代理部 大阪屋號 日韓書房

朝鮮古錢價格圖鑑 近刊

義手足 高野義手足製作所

りん病ばい毒

ニッソ 牛乳 東亞牧場

日本郵船出帆 尼崎汽船出帆 釜山出帆廣告 共同汽船出帆 大阪商船出帆 朝鮮郵船